



本 部 TEL058-370-6888 各務原市鷺沼各務原町1-4-1

■事業所

〈共同購入〉

岐阜北支所	TEL058-238-8731	岐阜市石谷1-40
岐阜南支所	TEL058-245-3277	羽島郡岐南町八剣1-209
岐阜宅配センター	TEL058-268-8112	岐阜市北鷺3-40-1
西濃北支所	TEL0584-27-8011	安八郡神戸町中沢181
西濃南支所	TEL0584-89-9011	大垣市古宮町丸池129-1
各務原支所	TEL058-385-0090	各務原市鷺沼各務原町1-4-1
中濃支所	TEL0575-22-2951	関市西本郷通6-4-6
多治見支所	TEL0572-27-8752	多治見市旭ヶ丘10-6-100
恵那中津支所	TEL0573-25-6830	恵那市東野字山の寺1261
飛騨支所	TEL0577-32-3444	高山市石浦町6-20
益田支所	TEL0576-25-6300	下呂市萩原町西上田1737

〈店舗〉

長良店	TEL058-231-1147	岐阜市長良福光南町7
芥見店	TEL058-244-0300	岐阜市芥見南山3-2-17
尾崎店	TEL058-383-2655	各務原市尾崎西町5-30
可児店	TEL0574-61-2555	可児市下恵土2817-1
多治見店	TEL0572-25-2929	多治見市京町4-109
恵那店	TEL0573-25-1180	恵那市大崎土地区画整理地内17街区

〈くらしの事業〉

共済事業部	TEL058-370-6713
クリエイト・サービス事業部	TEL058-370-6863
住宅事業部	TEL058-370-6866
福祉サポートセンター	TEL058-380-3030
福祉サポートセンター岐阜	TEL058-231-2135
コープデイサービス蘇原	TEL058-380-7781



ありがとう つながりあって
明日へ未来へ





ごあいさつ

生活協同組合コープぎふ 理事長 **川崎直巳**

１９９９年３月２１日、岐阜県内の３つの生協が合併してコープぎふが誕生し、１０周年を迎えました。これまでの取り組みにご協力、ご支援くださったみなさま方に心より感謝申し上げます。コープぎふは平野部から山間部にいたる広大なぎふ県全域を活動エリアとして、目の前にいらっしゃる一人ひとりの方に“笑顔あふれる協同の暮らし”を実感していただけるよう努力してまいりました。暮らしに密着した事業活動と平和、環境、福祉など様々な暮らしの願いの実現に向けて協同の力を発揮し、県下４２市町村で着実に進められてきたことを嬉しく思います。暮らしに関わる様々な問題に直面し、持続可能な社会実現のための課題も浮き彫りになってきている今日こそ、人と人、様々な組織、あるいは地域での協同の力をつなぎ、発展させることは益々重要になっていると思われます。コープぎふはこれからも、暮らしに役立つ取り組みを通じて、ひとりでも多くの人に「未来につながるあんしん生活」を実感できるよう努力してまいります。ご指導、ご協力よろしくお願いいたします。

CONTENTS

1.祝辞

(1) 県知事、県議会議員、自治体首長	1～3
(2) 関係団体、生協関係	4～5
2.コープぎふの歴史	
(1) 戦後の岐阜県内消費生協の姿(1945年～1962年)	6
(2) コープぎふの前身、3生協の誕生と歩み	
① 飛騨生協の創立(1963年)	7
② 消費生協の創立(1971年)	8
③ 市民生協の創立(1973年)	9
④ 地域生協の拡大・交流と県生協連創立(1974年～1983年)	10～11
⑤ 経営再建と生協間連帯活動(1984年～1993年)	12～13
⑥ 協同組合間提携と地域、社会貢献(1994年～1998年)	14～15
年表①(1945～1998年)	16～17

3.コープぎふ10年の歩み

(1) 1999年と第1次中計	18
(2) 2000年	19
(3) 2001年	20
(4) 2002年と第2次中計	21
(5) 2003年	22
(6) 2004年	23
(7) 2005年と第3次中計	24
(8) 2006年	25
(9) 2007年	26
(10) 2008年と第4次中計	27
(11) 2009年	28～29
(12) 2015年ビジョンへ	30～31

4.コープぎふの現在

(1) 組合員活動	32～33
(2) 事業活動	34～35
年表②(1999～2009年)	36～37

1.祝辞

(1) 知事、県議会議員、自治体首長



岐阜県知事
古田 肇

祝辞

この度、生活協同組合コープぎふが創立１０周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。
貴組合におかれましては、発足以来、組合員への安全で安心な商品・サービスの提供をはじめ、福祉、環境、災害対策など様々な分野でも積極的に活動され、暮らしやすい岐阜県づくりに多大なご貢献をいただいていることに、厚くお礼申し上げます。
今、私たちは、地球温暖化や経済危機をはじめとする地球規模の課題とともに、国内では雇用の悪化や少子高齢化の急速な進展といった様々な課題に直面しています。こうした中、組合員相互が支え合い、生活を守り向上させていくことを理念とする生協活動の果たす役割は益々重要となってきています。県民の暮らしを向上させるため、貴組合の更なるご活躍を期待する次第です。
貴組合が、創立１０周年を契機として一層のご発展をとげられますとともに、組合員皆様方のご健勝とご繁栄を心からお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



岐阜県議会議員
早川捷也

祝辞

このたび、生活協同組合コープぎふが、創立１０周年という節目の年を迎えられましたことに、岐阜県議会を代表して、心よりお慶び申し上げます。
これも、皆様方が、県民生活の安定と向上のため、広範な社会活動に取り組まれてきた賜であり、深く敬意と感謝を表する次第であります。
昨今の消費者ニーズは、多種多様で、かつ、高度化しておりますが、皆様方は、安全・安心で良質な物資の安定した供給はもとより、社会福祉活動として福祉活動助成基金の創設並びに共同購入ステーションの設置など消費者のニーズを的確に把握し、新しい時代における消費生活を先導する事業を実施されており、誠に頼もしい限りであります。
今後とも、皆様方に対する期待は、ますます高まってくるかは存じますが、どうか、県民の暮らしが豊かなものとなるよう、引き続きご尽力をお願い申し上げます。
結びに、生活協同組合コープぎふが、今後さらに大きく飛躍されますことを心から祈念申し上げます。



岐阜市長
細江茂光

祝辞

このたび、生活協同組合コープぎふが創立１０周年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。
さて、昨年は食品偽装や表示の改ざんなど食品への安全神話が脅かされた１年でした。また、金融危機に端を発した世界的経済不況を始めとするグローバル化の波は、私たちの暮らしにも大きな影響を及ぼしています。
このような状況のもと、消費生活のあらゆる面で安全安心に向け、より良い暮らしを目指して、活動されている貴組合の存在意義は、ますます高まっています。
本市におきましてもＪＲ岐阜駅に消費生活センターを開設し、日々の相談業務や、教育・啓発事業を通じ、地域の消費者行政の充実に努めているところでありますが、これも関係団体や機関のご協力なくして進められるものではありません。
貴組合におかれましては、どうか創立１０周年を契機として、安全安心に暮らすことのできる持続可能な社会の実現に向けて、今後ともご尽力を賜りますようお願い申し上げます。
最後になりますが、貴組合の今後益々のご発展と組合員の皆様の皆様のご健勝を祈念し、お祝いの言葉といたします。



大垣市長
小川 敏

祝辞

「生活協同組合コープぎふ」が創立１０周年を迎えられ、ここに記念式典ならびに記念誌を発刊されますことを心からお祝い申し上げます。
貴組合におかれましては、平成１１年に創立されて以来、食品や日用品の提供をはじめとした様々な事業を展開され、地域住民の暮らしに貢献されてこられましたことに、心から敬意と謝意を表する次第でございます。
とりわけ、本市とは「災害時における物資供給の応援等に関する協定」を締結させていただき、「安全・安心のまちづくり」にお力添えをいただいておりますことに、あらためまして厚くお礼申し上げます。
今後とも、本市におきましては、市民の皆様との協働により、災害に強いまちづくりを進めてまいりますので、皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。
おわりに、貴組合のさらなるご発展と組合員の皆様のますますのご健勝を心より祈念いたしまして、発刊にあたってのお祝いの言葉といたします。



高山市長
土野 守

祝辞

生活協同組合コープぎふが創立１０周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。
この間、コープぎふにおかれましては、「笑顔あふれる協同の暮らし」を理念に、お互いに支えあい、協同の力で人間らしい暮らしの創造と、平和で豊かな地域社会の実現をめざして、活動しておられますことに対しまして、深く敬意を表する次第であります。
今後とも、多くの方々の豊かな暮らしを求め、安全な食生活、環境保全、活力ある地域づくりにご貢献いただきますことを願っております。
コープぎふが創立１０周年を契機として益々発展されますとともに、組合員の皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げます。

1.祝辞

(1) 知事、県議会議員、自治体首長



多治見市長
古川雅典

祝辞

この度は、生活協同組合コープぎふが創立10周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。
組合員の皆さんのつながりを力に、率先して環境活動に取り組まれるなど、食を中心とした日常生活全般に貢献する事業を展開されており、地域づくりの担い手としても御活躍なさっていることに深く感謝いたしますと共に、敬意を表します。
多治見市とは地震、風水害などの災害発生時における生活物資の確保・供給について協定を締結していただいております。緊急時の救援活動の担い手として大変期待しております。
市民がより一層安心・安全に生活できるよう、地域と社会になくてはならない生協として、皆さんの活動が益々発展することをお祈りいたしまして、お祝いの挨拶とさせていただきます。



関市長
尾藤義昭

祝辞

創立10周年、誠におめでとうございます。地域との協調を図りつつ、合併の労苦を乗り越えられ、着実に発展してこられたことに、心から敬意を表します。また、消費者のくらし向上や食の安全、環境に配慮した商品導入などのほか、福祉向上や子育て支援、平和、環境問題など幅広い分野で活動を展開され、地域社会に多大な貢献を果たしておられることに、心から厚くお礼申し上げます。
私も皆様方の熱意に負けず、「子どもたちの未来のために、安全で安心して暮らすことができるまちづくり」を進めてまいります。来年6月に関市で開催される「全国豊かな海づくり大会」でも、子どもたちの未来のために、自然環境保護の大切さを全国に強くアピールしたいと考えておりますので、ご協力をお願い申し上げます。
最後に、コープぎふの一層のご発展を祈念して、お祝いのメッセージといたします。



恵那市長
可知義明

祝辞

このたび、生活協同組合コープぎふが創立10周年の節目を迎えられましたことに対し、心からお祝い申し上げます。
さて、近年の「食」への関心は非常に高まり、当市においても小中学校の授業に食育活動の時間を設けるなど、「食」に対する考えや教育は年々その重要性を増してきています。とりわけ、地産地消活動や生産者との顔の見える流通体系をはじめとする貴団体の崇高な理念は21世紀の社会において必ずや重要な要素となってまいります。
おわりになりますが、貴団体の一層のご発展と組合員の皆様の方々の益々のご健勝を祈念し、お祝いのことばといたします。



各務原市長
森 真

祝辞

県内3生協が合併し「生活協同組合コープぎふ」が創立されて以来、地域と社会に無くてはならない生協として、ここに10周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。
貴組合の皆様におかれましては、日頃から市民生活の安定と生活文化の向上のために、食の安心・安全をはじめ、福祉、災害時支援、環境問題など様々な課題に積極的に取り組まれるとともに、安心できる平和で豊かな地域社会の実現に向け、多大な御貢献を頂いておりますことに対し、深く敬意を表します。
今後とも、様々な分野において「笑顔あふれる協同のくらし」づくりに取り組んでいただき、そして私たちの良きパートナーとして、住み良い街づくりにお力添えをいただきますようお願い申し上げます。
生活協同組合コープぎふのさらなるご発展を念願いたしますとともに、皆様方のご健勝ご活躍を心から祈念いたします。



可児市長
山田 豊

祝辞

生活協同組合コープぎふがこのたび10周年を迎えられましたことは、誠に喜ばしく、心からお祝い申し上げます。
日用品の提供をはじめ多様な事業を展開され、組合員の方々ひいては市民の生活の向上に貢献をいただき感謝申し上げます。
社会経済が大きく変化し規範や価値観が多様化する中で、今まで以上に肝要になってくるのが人と人とのつながりであり、市政を預かる私どもといたしましても、市民同士が共助力を合わせることで、市民生活の安定と生活文化の向上が可能となり、豊かな地域社会を創り上げていくことができると考えております。このことは貴組合の方針にも合致するものであると認識しており、今後とも貴組合の活動に期待する次第であります。
生活協同組合コープぎふのさらなるご発展と組合員皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。お祝いのことばといたします。



瑞穂市長
堀 孝正

祝辞

生活協同組合コープぎふ創立10周年記念を迎えられ、記念誌を発刊されますこと、誠におめでたく心よりお喜び申し上げます。
一口に10年と申ししましても、その間私たちの日常生活は、日本経済の発展とともに、急速に変化してまいりました。貴組合活動の中でも、特に食の安全に対する様々な事業や取り組みは、すばらしいものがあり、組合員との密接なつながりを広げて活力ある地域づくりに貢献されておられることに、深く敬意を表するものであります。
また当市にとって「緊急時における応急生活物資供給協力協定」に基づく物資供給へのご協力は、市民にとって大変心強いものであり、感謝申し上げます。
今後ともますますのご発展をお祈りし、尚一層住みよい暮らしづくりへの発展をお願い申し上げます。お祝いの挨拶といたします。



飛騨市長
井上久則

祝辞

生活協同組合コープぎふが創立10周年の記念すべき年を迎えられ、ここに記念誌を発刊されるにあたり、心からお祝いを申し上げます。コープぎふにおかれましては、私たち消費者にとって安全・安心な暮らしの実現に寄与していただいておりますことに深く感謝を申し上げます。
さて、折からの不況の中で、消費者の購買意識が低価格商品に集まる一方、過疎地域の集落では商店の存続が困難になるなど、消費者の間に不安が広がっております。そのような中で、コープ（生協）は組合員のため、共同購入はもちろん共済・保険事業、福祉事業など様々なサービスを提供され、幸せづくりに貢献されています。これからも組合員の「笑顔あふれる協同のくらし」の推進に一層のご尽力をお願い申し上げます。
最後に、「コープぎふ」のますますのご発展と職員の方々の皆様のご健康と今後のご活躍を祈念し、ごあいさつといたします。



下呂市長
野村 誠

祝辞

このたび、貴生活協同組合が創立10周年を迎えられたことを、心からお慶び申し上げます。
この間の生協を取巻く経済・社会環境は厳しく、そのなか「笑顔あふれる協同のくらし」の理念のもと、組合員の皆さんの暮らしを向上させ、地域とのつながり大切に年々生協の存在感を高めてこられましたことに改めて敬意を表するものであります。
価値観の多様化する現在においても、一貫して生活者の視点に立ち、安心・安全な生活を送るために何ができるのか、何が必要なのかを地域とともに考えていただき、豊かな暮らし、活力ある地域づくりに、貢献いただいております。
最後に、崇高な理念のもと、貴生活協同組合が益々ご発展されることを期待し、お祝いのことばとさせていただきます。



岐南町長
松原秀安

祝辞

貴組合は、組合員の方々の意見や要望を大切に、消費者が共同して事業・運営を行い作り上げていく組織として今日の発展を築かれました。
コープぎふの事業は共同購入をはじめ福祉事業、住宅事業、共済保険事業、葬祭事業などの身近なきめ細かい事業にも力をつくされ、頼りになる協同組合として事業を展開してこられました。また、人が生きていくうえで、もっとも大切な食に関しては、安全・安心に徹底的にこだわり、追求する真摯な姿に深く敬意を表す次第であります。
当町とは、2001年に「緊急時の生活物資確保等の協力に関する協定」を締結していただき、地域に根付いた頼もしい組合であり心強い限りであります。
今後とも、地域と共に歩む生協として、さらに飛躍・発展されることをご祈念申し上げます。



神戸町長
吉田弘義

祝辞

生活協同組合コープぎふの創立10周年を心からお祝い申し上げます。
貴生協は、平成11年3月に3つの地域生協が合併して結成され、岐阜県全域をエリアとして、営利を目的とせず、組合員の生活の向上を目指して、購買、共済、サービス、住宅、福祉の各事業を実施されてこられました。今では県下の26%の世帯に当たる、19万人の組合員を擁する大規模な生協に発展されたのであります。
また、組合員自身の活動として食育や地産地消の料理交流会や環境保全活動なども行っておられると伺っており、地域に根ざした活動に深く敬意を表します。今後とも、貴生協が安全な食生活、環境保全、活力ある地域づくりに貢献され、さらに発展されることをお祈りして、祝辞といたします。

1.祝辞

(2) 関係団体、生協関係



岐阜県農業協同組合中央会
会長 **岡田忠敏**

生活協同組合コープぎふ創立１０周年を祝して

生活協同組合コープぎふが創立１０周年を迎えられましたことに対し心からお慶び申し上げます。
コープぎふにおかれましては、安心・安全にこだわった商品や組合員の願いを反映した商品の提供等を通じて、地域のくらしを応援するとともに、環境にやさしい商品の普及やリサイクル推進等の環境活動など県内各地で積極的に取り組み、着実に成果を挙げておられます。
我々、岐阜県ＪＡグループとしても、安全・安心な農畜産物の提供や農業の多面的機能による環境保全等に取り組んでいるところです。今後とも食とくらしを守る仲間として、食料・環境問題、地域社会・経済の活性化に努めていくことが重要であり、一層の連携強化を図っていききたいと考えております。
結びに、組合員・役職員の皆様方の今後一層のご活躍と、コープぎふの益々の発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。



全国農業協同組合連合会岐阜県本部
運営委員会会長 **大池 裕**

祝辞

このたび、生活協同組合コープぎふが創立１０周年を迎えられましたことに対し、心よりお祝い申し上げます。
貴組合におかれましては、平成１１年３月岐阜県全域をエリアとする生協として設立以来、購買、サービス、福祉等の事業はもとより、食育や産地地消、環境保全、消費者と産地の交流、消費者運動等にご尽力され、地域のくらしに多大な貢献をされましたことに対し、心から敬意を表する次第でございます。
さて、私たち協同組合は「岐阜県協同組合間提携」により組合間の交流や情報交換、事業提携を通じて「日本一住みよいふるさと岐阜県づくり」に努めてまいりました。具体的には「生産と消費の交流促進」「新鮮・安全・良質を目指した基幹的な県内農畜産物の生産・流通・消費における提携」「地球環境保全の取り組み」を行うなかで、組合間の関係を密にしてまいりました。
今後各組合との協同組合間提携の充実を図り、協同組合の存在価値をさらに高めるなかで、組合員の負託に応えてまいりたいと存じます。
最後に、貴組合のますますのご発展と関係の方々のご健勝をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



岐阜県酪農農業協同組合連合会
代表理事会長 **馬瀬口弘志**

創立１０周年を契機に更なる飛躍を

貴組合が県内をエリアとする生協として力強くスタートし、１０周年という節目の年を迎えられ、誠におめでとうございます。
この間、すべての人々が幸せになる社会の実現を目指し「笑顔あふれる協同のくらし」の理念の下、安全・安心な商品の提供はもとより、くらしをサポートするサービスの提供・たすけあいのための福祉介護事業、環境保全活動等、時代背景を的確にとらえた多様な事業に積極果敢に取組まれるとともに、組合員や地域社会との連携を強化され、県内になくてはならない生協として確固たる地位を築いてこられました。この間のご努力に対し、深甚の敬意を表します。
昨今の社会は、格差の増大や貧困率の上昇、食の安全安心に対する不安の増大等「幸な社会の実現」に支障となる事象が多く発生し、更なる協同の力の発揮が強く求められております。
これを契機に、目的達成に向け、協同の力を結集され飛躍されますことを祈念しお祝いの言葉と致します。

核兵器と戦争のない平和な世界をめざそう

コープぎふ合併１０周年おめでとうございます。
来年２０１０年は、人類史上初の原子爆弾が広島・長崎の上空で炸裂してから６５年、岐阜県原爆被爆者の会（岐朋会）結成から２０年になります。
２０１０年には、またＮＰＴ（核兵器不拡散条約）再検討会議が開催されます。今年４月、チェコのプラハでオバマ米大統領は「アメリカには、核兵器を使用した世界唯一の核大国として行動する道義的責任がある。アメリカは、核兵器のない平和で安全な世界を目指す決意を宣言する」と述べました。鳩山首相も今秋国連で日本は核兵器廃絶のために行動する道義的責任があると演説しました。世界はオバマ大統領や鳩山首相の演説を歓迎し、核兵器保有国や核を配備する国の指導者からも、自国の核兵器放棄を求める声が相次いでいます。
広島・長崎で核戦争の地獄を体験した私たち被爆者は「原爆が、からだ・くらし・こころにもたらした被害」とたたかいたが、二度と私たちのような被爆者がつくられないことを願い、語り続けてきました。
私たち被爆者は、地下核実験を繰り返す隣国・北朝鮮に抗議し、唯一の核被害国である私たちの国・日本の政府に、アメリカの「核の傘」から離脱することを要求し、「非核３原則」を法制化する運動を展開しています。「ふたたび被爆者をつくるな」「原爆を二度と誰にも体験させたくない」と、願っているのです。
生協のみなさんとは、岐阜において、また全国においてご支援を得ながら、共に「核兵器のない世界」を実現するために協力合ってきました。
ＮＰＴ再検討会議の成功、「非核３原則の法制化」「核兵器と戦争のない平和な世界」をめざし、あわせて『コープぎふ』のさらなる発展とみなさまの健康ご多幸を祈念し、お祝いのことばとします。



岐阜県原爆被爆者の会（岐朋会）
会長 **白木幸雄**



日本生活協同組合連合会
会長 **山下俊史**

創立１０周年を迎えて

生活協同組合コープぎふが創立１０周年を迎えられるにあたり、全国の生協の仲間を代表して心よりお祝い申し上げます。
県内広くの地域で組合員、役職員の皆様が力を合わせ、笑顔あふれる協同のくらしの実現のため多大な努力と実績を積み重ねてこられたことに深く敬意を表する次第でございます。
今、百年に一度ともいわれる経済危機のなかで、経済・社会・消費などの構造変化が加速しており、組合員のニーズに応えることを存在意義とする協同組織である生協の、役割と責任はますます大きくなっています。
折しも、今日の日本の生協の礎を築いた賀川豊彦が、神戸で救貧活動を始めてから百年を迎えました。今こそ、協同組合の立脚点である自助と連帯の価値に立ち、生協の２１世紀理念「自立した市民の協同の力で人間らしいくらしの創造と持続可能な社会の実現を」目指し、コープぎふのみなさまをはじめ、全国の生協とともに危機に立ち向かいたいと考えます。
コープぎふのみなさまが今後もさらにご活躍されますことを全国の生協とともにご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



日本コープ共済生活協同組合連合会
理事長 **矢野朝水**

コープぎふ創立１０周年に寄せて

コープぎふ創立１０周年まことにおめでとうございます。
貴生協は、１０年前、岐阜県内３つの生協が合併して創立されて以降、店舗事業や宅配事業はもとより福祉事業や社会貢献活動などを着実に実施され、今日では、組合員２０万人、事業高２６０億圓に発展されました。これもひとえに組合員のご支援と役職員をはじめ関係者の皆様の努力の賜物と深く敬意を表する次第です。
昨年の金融危機及び世界同時不況を契機に、資本主義や株式会社のあり方が問い直されて、生協など協同組合の意義が評価され、期待も高まっています。
貴生協におかれましては、組合員、県民の期待に応えて、創立１０周年を機に次の１０年を目指して、引き続き生協らしい誠実で健全な業務運営に努められ、更に大きく発展されるよう祈念いたします。



生活協同組合
東海コープ事業連合
理事長 **寺本康美**

祝辞

生活協同組合コープぎふ 組合員・役職員の皆様、そして長い歴史を支えてこられた多くの皆様、創立１０周年本当におめでとうございます。
東海コープ事業連合は、今春創立１５周年を迎えました。法人としての歴史は１５年ですが、わたしたちの連帯の歴史は遥かに長く、各生協の誕生とともに始まっていたと言えます。
前身である岐阜地区市民生協は、この歴史の中で常に大きな役割を果たしてこられました。１９８８年、共同購入ＯＣＲ化から注文電卓方式による５生協（当時）連帯の方向への転換という英断をされたことが、確固たる「事業連帯」への道を拓いたのです。その後も、幾多の困難を乗り越えての県内合併、店舗事業への果敢な挑戦、貴重な人材の派遣等で、東海コープ会員生協をリードしていただきました。
「東海コープグループ」として新たなステージを迎えているわたしたちの連帯に、一層の力を発揮いただきますようお願い申し上げます。



全岐阜県生活協同組合連合会
会長理事 **水野隼人**

祝辞

コープぎふ創立１０周年おめでとうございます。
１９９６年１０月 県連で県内三地域生協の合併の提言を行なってから、十余年が経ったことに感慨をもって振り返っております。三生協合併の気持ちを一つにした“映画 郡上一揆”の製作。そして全国に先駆けて制定された岐阜県食品安全基本条例（２００３年）にむけて取り組んだ組合員の力。生協“コープぎふ”の組合員の皆様の努力に感謝いたします。
さて、今年度は、消費者庁が発足し消費者行政が大きく転換しようとしています。県連としては、消費者被害の減少をめざして、消費者への情報提供や身近な相談窓口である、岐阜県及び市町村の消費生活センターの拡充をめざし、岐阜県内での初めての消費者ネットワークづくりをめざしています。ともに消費者組織の強化をめざしてネットワークづくりをすすめていきましょう。
また、県内の生活協同組合運動をさらに広げていくため、これからも、ともに手を携えて取り組みをすすめていきましょう。



東海コープ虹の会
岐阜地域部会
代表運営委員 **川島兵太郎**

祝辞

薫る秋、コープぎふ様には創立１０周年を迎えられ、誠におめでとうございます。虹の会岐阜地域部会を代表し、心よりお祝いを申し上げます。
全県下を網羅する新組織のコープぎふとして発展組織され、今日まで大なるご発展を遂げておられます。「組合員の皆様一人ひとりの生活に貢献する」。その一点を追求し尽くしてこられ、それは組合員の皆様の毎日の大きなお喜びとなって具現し、また多くの支持を得てこられました。その着実なご発展に敬服しております。
今後、２０年、３０年と更なるご発展をお祈り申し上げます。

2. コープぎふの前史

(1) 戦後の岐阜県内消費生協の姿(1945年～1962年)

戦後の経済混乱で国民の生活は悲惨をきわめていました。敗戦の年が凶作であったこともあり、食糧不足は戦時中以上に深刻化し、激しいインフレにも促されて、生協の設立が1946年から47年にかけて全国的に爆発的に広がり、組合数に於いては6千を突破するという激増ぶりを示しました。戦争末期においては食糧不足が深刻化し、都市住民の農村への買出しがはじまりました。町内会などによる共同購入などの買出しの組織化も進み、敗戦後の食糧危機にともなって組織化はいっそう拡大され、生協という形態をとるようになっていました。従って、当時の生協は町内会単位の全世帯加入によって創立されるものが多く、店舗などは全くな

いか、あってもたいした設備を持たず、食糧などの品物が入手されるたびに組合員が集まって分け合うというような初歩的なもので「買出組合」とも呼ばれていました。同様に岐阜県においても生協設立が激増し、日本生協連生協運動史編集委員会編の『現代日本生活協同組合運動史』(日生協連、1964年)によれば、1947年末現在で岐阜生産者協同連合会(1,878組合)、岐阜県連合会(48組合)と記録されています。例えば、岐阜市には15組合が存在し、京町校下消費組合、徹明校下消費組合、白山校下消費組合のように「校下消費組合」の名称を用い、校区単位で組織されていました。

当時の生協設立の契機が食糧危機にあり、町内会単位の小規模組合が大部分を占めていたことから、その後の食糧難が比較的緩和されてくると組合員の生協への結集が弱まり、日本の経済情勢の急激な変化の中で多くの生協が解散していくこととなりました。

その後は、労働運動の高揚のもとで、労働組合による職域生協設立と、多くの大学で「学ぶことは食うことから」と自治会の再建とあわせて大学生協の設立が広がっていきました。

新たな地域生協の発展は、生活協同組合コープぎふの前身である生活協同組合飛騨生協(1963年)、岐阜消費生協(1971年)、岐阜地区市民生協(1973年)の設立へとつながっていきました。

補足【岐阜県における戦前の生協の活動】

1900年(明治33年)に「産業組合法」が制定された明治の後期、官吏など俸給生活者の生協が各地に設立されました。前掲書には、明治40年11月岐阜市で設立の購買組合岐阜協会が組合員746名(官公吏教員549名、銀行会社員125名、自由業者その他74名)、売上高262,126円の記録があります。その後大正デモクラシーとよばれる社会情勢のもと、全国的に社会運動の一つとして新興消費組合が設立されていきましたが、岐阜県では、大正12年12月に高山購買組合(79名)、大正13年1月に笠松共同炊事購買組合(65名)が設立されています。

しかしこれらの戦前の生協は、日中戦争から太平洋戦争へと戦争が激化するなかで、戦争遂行・協力のため解散、部落会や町内会に組織、統制されていきました。

なお、これらに遡る明治初期、イギリスのロッチデール公正開拓者組合に学んだわが国最初の生協「共立商社」が誕生していますが、その発起人12名の一人に岐阜県(現在の山県市美山町)出身の早矢仕有氏(丸善株式会社の創立者)が名を連ねられていることは特筆すべきことです。



町内会生協のひとつ。1945年11月設立の東京の高円寺六丁目生協(日生協資料室資料から)

(2) コープぎふの前身、3生協の誕生と歩み

1960年代から70年代の高度経済成長期、その成長の陰では高物価、食品公害、環境汚染、食品添加物など、人々の命やくらしを脅かし始めていました。そのような情勢下、各地で子どもを守るお母さんたちによる、牛乳、卵、洗剤などの共同購入の活動が始まり、それらが発展して地域生協づくりへとつながっていきました。

※この時期の生協運動の広がり と 前進の歴史は、「生活闘争の広がり と 女性の社会進出・1970年代以降の生活協同組合の発展」と題して『岐阜県史 通史編 続・現代』(岐阜県 2003年3月刊)の541ページから547ページに詳しく紹介されています。

① 生活協同組合飛騨生協(1963年3月26日設立)

1963年、飛騨地区労働組合協議会の物資部が改組し、飛騨地区労働者消費生活協同組合(その後生活協同組合飛騨生協と改称、以下飛騨生協と略称)として発足しました。設立から石油危機までの10年で、生鮮部門やLPガス・灯油・酒の小売り免許取得・冠婚葬祭などの新規事業を積極的に開拓し、本部店以下10店舗の展開となりました。

1973年の石油パニック以降、経営不振に直面、岐阜地区市民生協をはじめとして岐阜県連、東海三県連、大阪等多くの生協が支援し、共同購入から再出発しました。



完成当時の飛騨生協会館(1970年)



生活協同組合飛騨生協
元理事

中野 利夫

飛騨生協再建に思う

生活協同組合コープぎふ10周年を心からお祝い申し上げます。

周年行事といいますと、私のかかわってきた飛騨生協の30周年のことを思い出しています。

飛騨生協の30周年記念行事は1993年10月に執り行わせていただいたものであります。この記念行事は、経営危機のところを県生協連、岐阜地区市民生協をはじめとして東海、関西と多くの方々のご支援を頂きながら危機から脱することができ、再建達成記念を謳い上げることができたときであります。

1983年経営破綻をきたして以来10年近くに及ぶ長期間、“飛騨に生協の火を消すな”を合言葉に支援してくださった皆さんのありがたさが身にしみたものであります。

連帯の力こそが生協活動の原点であります。県内の3地域生協が合併して10年、今後とも生活協同組合コープぎふが、協同・連帯と組合員の力の結集の要としますます発展されることを心からお祈りいたします。

2. コープぎふの前史

② 岐阜消費生活協同組合(1971年4月1日設立)

1971年、岐阜消費生活協同組合（以下、消費生協と略称）の活動は大洞地域で青空市を始めたことからスタートとしました。事業は岐阜市東部や各務原市の団地を主な出店先とし、その後も小型店を出店しました。

しかし、一人ひとりが出資金を持ち寄り、自己資本によって出来ることから始めるといった生協本来のやり方ではなかったため、組合員主体、組合員の声に基づいて運営するといった基本姿勢を持ちきれず、事業の停滞を招き、一部店舗を閉店しました。

1994年に経営危機が表面化しましたが、“生協をつぶしてはならない”“組合員に迷惑はかけられない”“理事会が負える責任は限られているがやれる努力は精一杯やろう”と、再建への取り組みを始めました。岐阜地区市民生協をはじめ東海コープ事業連合からの支援と組合員・役職員による再建への努力によって経営再建を果たし合併しました。



1号店の大洞店（1972年オープン）

創立10周年に寄せて

岐阜消費生活協同組合

元理事長 **渡辺光雄**（岐阜大学名誉教授）

県内3生協が合併して「生活協同組合コープぎふ」が創立、10周年を迎えたことを心からお慶び申し上げます。

創立の頃は私も岐阜消費生協の理事長でした。しかし実は職場では岐阜大学の大学生協、そして居住地の地域では市民生協の共同購入に参加していました。当時の一般県民・組合員からみれば3生協の合併は当然のことであったことでしょう。しかしこの合併は岐阜県の生協運動史からみると実に画期的なことであり、非常に重要な意味をもっている出来事でありました。

いま社会は、政治的にも経済的にも確実に大きな変革期を迎えている時代にあると言えるでしょう。核軍縮や環境問題など（とても解決できそうもなく思えた）懸案の諸問題・諸課題に対しても、序々に何らかの解決方途を掴みかけている時代に私達は生きています。これまで「食」を中心に国民の生活の原点を鋭く問うてきた生協活動も、この可能性ある時代の動向に呼応して「新しい生活の未来像」を掲げ飛躍する時だと思っています。創立10周年を祝し「生活協同組合コープぎふ」の今後の発展を心からお祈り申し上げます。

③ 岐阜地区市民生活協同組合(1973年7月15日設立)

オイルショックや公害、そして食品添加物など、生活の不安が高まった1973年の7月15日、岐阜地区市民生活協同組合（以下、市民生協と略称）は「安心・安全な商品」が欲しいという主婦の願いで、1436名の組合員と3名の専従で設立されました。岐阜大学消費生活協同組合をはじめ、他の多くの生協の支援を受けながらのスタートでした。

組合員との話し合いを大切にしながら、暮らしを語る人々の輪を広げながら、生産者・メーカーの皆さんと一緒に商品開発し、利用してきました。活動地域も各務原市を中心に共同購入事業に取り組んでいましたが、多治見市、岐阜市をはじめ中津川から関ヶ原までの岐阜県南部地域に広がりました。そして、事業も無店舗事業（基本共同購入・JSS・個人引き取り共同購入）と店舗事業、さらに共済・住宅・サービス事業へと拡大してきました。また、行政や地域の皆さんのご指導やご協力を得ながら、組合員の生活の文化的経済的向上のために努力してきました。



創立総会の様子（1973年）

組合員の願いである商品を魅力あるものにするために、東海コープ事業連合をつくり、会員生協の商品・物流・情報システム等を合同し、事業の強化や効率化を進めてきました。同時に、組合員が身近なところに生協があると実感できるように、組織活動を4つの地区に分けて進めてきました。

1984年飛騨生協、1996消費生協からの支援要請を受け、再建支援を行ってきました。この経過の中で、飛騨生協、岐阜消費生協と岐阜地区市民生協との業務提携が進みました。商品と事業、そして後方機能を共通化できたことは合併を進める事業面での条件として大きな力になっています。



岐阜地区市民生活協同組合
元理事長
御園喜博

（岐阜大学名誉教授）

市民生協創立期の頃に思いを馳せる

創立総会が真夏で、会場的那加中学校講堂は子連れの若いお母さんたちで一杯、クーラーもなく職員が急ぎ氷柱を用意、熱気と子供たちのにぎやかな喚声のうちに大成功したことが、いまでも鮮明に思い出されます。

主婦たち自らが生協を立ち上げるというのは、岐阜県では画期的な出来事でした。しかも手探り、手弁当、全国・近隣先輩生協に学びながらの運営には、経営的にも厳しい現実がありました。市民生協発足当初の数年間、操業の苦しさを組合員の涙ぐましい努力でなんとか乗り越えて、その後躍進し現在のコープぎふへと発展できたのには、子どもの健やかな成長と、家族の命と暮らしを守るお母さんたちの願いと力、そして各務原共同購入会時代から応援してくれていた岐阜大学生協の役職員、学生委員のみなさんの献身的なご尽力があったことを忘れてはならないと思います。 おめでとうございます。

2.コープぎふの前史

④ 地域生協の拡大・交流と全岐阜県生活協同組合連合会設立 (1974年～1983年)

1970代後半から80年代前半は、大衆消費社会を背景とした製品の安全性の問題がさらに深刻化するとともに、マルチ商法などの新たなタイプの消費者問題が発生し、各地に被害を広げていきました。こうしたなかで安心して暮らしたい、知りたい、一緒に考えたい、行動したいという県民の願いと期待が生協に寄せられ、コープ商品の開発、充実化とともに組合員拡大が急速に進み、新たな生協運動の高揚期を迎えました。

しかし、岐阜県内の生協はまだまだ事業・経営規模が小さく、県民の期待と要求に応え生協を発展させていくためには、生協運動の精神と協同組合の組織原則にもとづいて大同団結し、生協間連帯の連帯を名実ともにつくりあげようと、1975年12月14日に県内5つの生協（岐阜県学校生協、岐阜大学生協、飛騨生協、消費生協、市民生協）で全岐阜県生活協同組合連合会を設立しました。



当時の共同購入の様子

手書きの注文書、班の分を集計し、一つひとつ商品名を読みながらの荷降ろし。雨や風、雪にも負けず、毎週1回の配達が生協の仕分けと組合員同士の楽しいおしゃべりの場でした。



運営委員会活動と交流

商品利用と、組合員の暮らしにもとづく様々な組合員活動がスタート。各地域で運営委員さん同士の活動交流が活発に開催され、商品、地域など深く知る機会となりました。



産直分け合い市

海なし県でもとれたての新鮮な魚を食べたいという願いのもと、当日漁港から直送の鮮魚を分け合って利用。常設分け合い施設「ふれあいの家ながら」そして店舗へと受け継がれていきました。



無添加ハムの開発

「不必要な添加物は使用しない。安心して食べられる無添加ハム」の開発は、3,000人の仲間づくりが出発でした。本物のハムの味と色に驚き関心を寄せる子どもたちの笑顔がすばらしかった。

【主なできごと】

- 1975 12/14 全岐阜県生活協同組合連合会設立
- 1976 消費生協、共同購入事業開始
- 市民生協 完熟トマト、無漂白パンの供給
- 1977 市民生協 運営委員会活動スタート
- 1978 市民生協 初めての配送センター、各務原市にオープン
- // 無添加ハム開発
- 消費生協 大洞店2階に商品検査センターオープン
- 1979 飛騨生協 レインボー店オープン
- 1980 市民生協 2番目の配送センター、多治見市にオープン
- 1981 市民生協 3番目の配送センター、岐阜市にオープン
- 1982 消費生協 創立10周年
- 市民生協 班の助け合いについて考え、「班パック」部分的開始
- 1983 飛騨生協 創立20周年
- 市民生協 創立10周年
- // 第1回産直交流会開催

■全岐阜県生協連設立の頃の加盟各生協の状況

(1978年3月末)

	飛騨生協	消費生協	市民生協	学校生協	岐大生協
組合員(人)	6,500	15,710	2,407	18,043	5,116
供給高(千円)	800,000	1,808,647	264,187	376,938	628,467
出資金(千円)	120,400	138,148	13,186	4,807	25,240
役員数	11	22	20	18	23
職員数	39	76	10	8	68
店舗数	11	5	0	0	12

【県生協連設立趣意書より一抜粋】

「生活と健康を守るとりで『生協』によせられる期待は大きく、数年の間にいくつかの生協が新しく設立され、既存の生協の拡大強化発展の中で、新たな生協運動の昂揚期を迎えております。

私たちは、ここに県内の生協が生活協同組合運動の精神と日本生活協同組合連合会の組織原則に基づいて大同団結をし、協同組合間の連帯を名実ともにつくりあげる県連合会の設立を図ろうとするものであります。

県生協のみなさん。

私たちの大同団結でもって、もっと連絡を密にし、相互の連帯協力でもって理想に向かって前進しましょう。」

2.コープぎふの前史

⑤ 経営再建と生協間連帯活動(1984年～1993年)

1984年に飛騨生協の経営破綻に対して、「飛騨の地から生協の火を消すな」を合言葉に、岐阜県の生協の総力を上げて再建・支援活動に取り組みました。行政とよく相談し、愛知県の生協や大阪の生協からの長期にわたる支援協力もいただきながら、約10年間に及ぶ活動に取り組みました。

そうした連帯の力で、飛騨生協が1993年に再建を確認する総会を開催しました。生協の再建期として、厳しい情勢をのりきることができた連帯の力は、第1回岐阜県生協大会の開催につながりました。



第1回岐阜県生協大会

寸劇、スライド、報告と多様な各生協の活動発表、開発商品展示に関心が集まり、くらしを守る活動に果たす生協の役割を強く感じる事ができました（5生協、205名が参加）。



大和町での有機栽培米交流

県下の生産者団体と生協の共同で、「有機栽培米」の実験に取り組みました。田植え、収穫祭、食味会と交流を重ね、食糧自給や環境を守るために農業の大切さを学びました。



牛乳生産安定基金

生協牛乳と地域の酪農を守り、育てるために、「牛乳生産安定基金」に取り込み、組合員一人一人が資金を出し合い、600万円を拠出しました。基金で購入した乳牛は募集した名前によれば、産地見学でお会いしました。



献血接遇車

市民生協創立20周年、お世話になった地域の人たちへ感謝の心をめて献血接遇車「岐阜地区市民生協号」を贈りました。今も現役活躍中、今回10周年記念献血の場にも登場します。

【主なできごと】

- 1984 市民生協 牛乳生産安定基金の拠出
- 県生協連 第1回岐阜県生協大会 食品添加物規制緩和反対の取り組み展開
- 飛騨生協 再建支援活動スタート及び共同購入本格スタート
- 市民生協 大垣北、可茂センターオープン
- 1985 市民生協 「ふれあいの家ながら」オープン
- 消費生協 共同購入電算化スタート
- 1986 飛騨生協 再建総代会、第1次再建計画スタート
- 1987 市民生協 「3万人虹のフェスティバル」開催
- 市民生協 飛騨生協と業務提携（共同購入事業全般）
- 1988 市民生協 共同購入改革に取り組み「注文電卓あい」開発
- // 関美濃センターオープン
- 飛騨生協 高山市石浦町に本部事務所、配送センターオープン
- 1989 市民生協 消費税からくらしを守る運動に取り組む
- 大垣南センターオープン
- 1990 コープ東海事業連帯準備機構に加盟・発足
- 消費生協 共同購入にOCRでの注文システム導入
- 1991 市民生協 1号店「コープながら」オープン
- 消費生協 20周年フェスティバル開催
- 飛騨生協 COOP飛騨生協まつり開催
- 1992 東海コープ共同事業センター（事業連合準備会）発足
- ICA（国際協同組合同盟）東京大会・開催
- 岐阜県協同組合間提携がスタート
- 市民生協 有償ボランティア「コープくらしたすけあいの会・ぎふ」発足
- // 「コープたじみ」店オープン
- 1993 東海コープ 共同購入の物流事業・商品事業の統一開始
- 市民生協 創立20周年
- 飛騨生協 再建達成、新生・飛騨生協理事会誕生、創立30周年

■飛騨生協、30周年を祝う（議案書から）

さまざまなことがあった30年。

これまで応援いただいた行政、東海、県内の生協、業者、新旧運営委員会からご参加いただき、再建達成と創立30周年の報告を行いました。また、初めて地域のお母さん組合員5名が理事に選出され、新たな活動の出発を宣言しました。



飛騨生協再建達成と創立30周年

2.コープぎふの前史

⑥ 協同組合間提携と地域、社会貢献(1994年～1998年)

飛騨生協の再建達成の直後、消費生協の経営悪化が報告されると、市民生協が中心となって業務支援を行いました。同時に生協県連の場で、県内の地域生協の新たな発展の方向として県内3地域生協の合併を進めることが提起され、1996年から合併に向けた本格協議が始まりました。

同時にこの時期は、岐阜県協同組合間提携（生協連と農協連、酪農連、森林連）による岐阜県農業フェスティバルへの参加や地域での連携が進展していきました。また阪神・淡路大震災や県内外で相次ぐ災害対応に、県、自治体との災害協定締結を結び、物資やボランティア、募金などの社会貢献が強まりました。連帯活動、社会貢献の面でも地域3生協が共同歩調をとりながら、合併条約調印、合併総会を経て、1999年3月21日に新しい「生活協同組合コープぎふ」が誕生しました。



災害協定締結

甚大な被害をもたらした阪神・淡路大震災に全国の生協とともに義援金と人的物的支援に取り組みました。

これを教訓に県、自治体との災害協定の締結が進みました。



岐阜県農業フェスティバル

県下の協同組合のコーナーで、生協は地場開発商品、福祉・平和・ユニセフなど協同・協力して開催。

県、地域で協同組合同士の協力・協同を強めています。



くらしたすけあいの会・ぎふ

助け合いの輪をもっと広げたい、困った時はおたがいさま。一人一人にできることを大切に、地域の人たちと手を取りあって健康で心豊かに暮らせる暖かい地域社会をめざします。



合併へ、3生協合同商品交流会

1996年10月、生協県連が提唱した合併方針にもとづいて、3地域生協合併へ。旺盛に進められた組合員、役職員交流、各生協の開発商品、地域特産物に高い関心が寄せられました。

【主なできごと】

- 1994 東海コープ事業連合設立総会、市民生協 消費生協と業務提携
- 飛騨生協 2番目の配送センター、萩原町にオープン
- 市民生協 可児店オープン
- 1995 生協県連 「くらし協同フェスティバル」開催
- 1996 「緊急時の生活物資確保等の協力に関する協定」調印
- 県と県生協連、市民生協と大垣市、各務原市、可児市
- 1997 県内3生協が合併していく方針を総代会で決定
- 市民生協 恵那市、柳津町と、飛騨生協 高山市と「緊急時の生活物資確保等の協力に関する協定」締結
- 1998 消費生協再建達成
- 9月より組合員全員による合併の賛否を問う「書面議決」の取り組み
- 11/30 3生協合併総会開催 圧倒的多数の賛成で合併を可決
- 1999 3/21生活協同組合コープぎふ誕生

■「生活協同組合コープぎふ」の誕生

3地域生協の合併により、岐阜県全市町村に13万余の組合員を擁する地域購買生協が誕生しました。戦前、戦後を通じた岐阜県の生活協同組合の伝統と、コープぎふ前身の3生協の誕生と歩みに学びながら、生活協同組合コープぎふの理念・ビジョン・行動指針に基づき、「笑顔あふれる協同のくらし」を実現していきます。



合併総会



発足記念式典

合併から10年間、芥見店・恵那店のオープン、可児店を始めとする店舗リニューアル、全県に広がる共同購入ステーション、福祉活動助成基金の創設、葬祭事業の開始、おしゃべりパーティー、戦争体験聞き書きの取り組みなど様々な事業や取り組みをすすめて、地域のくらしに貢献するとともに、県内になくてはならない生協としてその存在感を増すことができました。



記念講演

2.コープぎふの前史

年表①

年度	コープぎふ・県内生協の歩み	協同組合・社会のできごと
1945(S20)		日本協同組合同盟設立◇太平洋戦争終結
1946(S21)	(この頃、配給物資の受け皿として県内各地域に町内会単位の消費組合が激増)	全国で生協の再建・新設すむ◇食糧獲得闘争と荷受権・配給権獲得運動◇国際協同組合デー復活◇日本国憲法公布
1947(S22)	岐阜県生協連合会(48組合) 岐阜生産者協同組合連合会(1,878組合)	農業協同組合法公布◇日本国憲法施行
1948(S23)		消費生活協同組合法施行◇岐阜県農協経済連合会設立
1949(S24)	岐阜県学校生活協同組合設立	第27回国際協同組合デー◇ドッジライン(経済安定9原則)
1950(S25)	(食糧事情の変化で、県内各地域の町内会単位の多くの生協が経営難で休眠・解散)	朝鮮戦争勃発
1951(S26)		日本生活協同組合連合会創立◇政府による食糧配給制度終了◇サンフランシスコ講和条約・日米安全保障条約調印
1952(S27)		ICA(国際協同組合同盟)、日生協と農協の加盟承認◇岐阜県森林組合連合会設立
1953(S28)		朝鮮戦争休戦協定調印
1954(S29)		岐阜県農業協同組合中央会設立◇ビキニ水爆実験、第5福竜丸被災
1955(S30)		10円牛乳運動活発化◇反生協の動き活発化◇森永ヒ素ミルク中毒事件◇第1回原水爆禁止世界大会
1956(S31)		第1回全国生協婦人大会◇全国生協総決起大会、反生協粉砕等決議◇全国消費者団体連絡会結成 国連に加盟◇神武景気始まる◇日ソ国交回復宣言
1957(S32)		日生協医療部会発足◇全国労働者共済生協連合会創立◇日生協婦人部全国協議会創立◇全国消費者大会「消費者宣言」採択
1958(S33)	岐阜大学消費生活協同組合設立	第1回全国生協学校◇全国消団連、生協規制反対を決議
1959(S34)		日生協、特別措置法反対で国会前座り込み◇消団連、新聞代値上げ反対を決議◇安保阻止でデモ隊国会突入◇伊勢湾台風◇キューバ革命
1960(S35)	岐阜県学校生活協同組合再建	全国CO-OP商品第1号「生協バター」発売◇三井三池争議◇新日米安保条約発効◇チリ地震
1961(S36)	岐阜県労働者共済生活協同組合(全労済岐阜県本部)設立	全国CO-OP商品方針提起(この年「CO-OPみかん缶」「テトロンシャツ」発売)◇日生協婦人部、主婦連と物価値上げ反対とエプロンデモ◇大豆の輸入自由化◇農業基本法公布◇多摩川で合成洗剤汚染、社会問題化
1962(S37)		日生協総会、班組織方針を提起◇東京で大気汚染、騒音公害問題化◇ケネディ「消費者の権利保護に関する特別教書」で4つの消費者の具体的権利を提唱◇バナナなど25品目の輸入自由化
1963(S38)	生活協同組合飛騨生協(以下、飛騨生協)設立	物価値上げ反対エプロンデモ◇ケネディ大統領暗殺
1964(S39)		日生協、中性洗剤の毒性問題に取り組み開始◇第18回東京オリンピック◇新潟地震発生◇東海道新幹線開通
1965(S40)		合成着色料赤色1号・101号使用禁止◇新潟水俣病発生◇第20回国体岐阜開催◇アメリカの、北ベトナム爆撃開始
1966(S41)		日生協CO-OPソフト発売(LAS系洗剤)◇第23回ICA大会(ウィーン、新6原則を採択)◇タール系色素7品目使用禁止◇物価メーデー
1967(S42)		第1回全国生協大会◇日生協など牛乳、消費者米価の値上げなど反対運動広がる◇東京都知事に美濃部氏当選◇第3次中東戦争勃発◇公害対策基本法公布
1968(S43)		この年、静岡、千里山、生活クラブなどの生協で予約・定期配達 の共同購入始まる◇消費者保護基本法公布◇物価メーデー (250万人参加)◇カネミ油症事件◇3億円強奪事件
1969(S44)		日生協、CO-OPセフター発売◇各地に消団連設立すむ◇物価メーデー(325ヶ所)◇厚生省、チクロの使用禁止◇東大安田講堂に機動隊導入
1970(S45)	各務原共同購入会設立 飛騨生協会館完成	チクロ追放消費者大会◇日生協総会「福島結語」採択◇酒・虹の宴全国酒類協組結成、虹の宴供給開始◇消費者5団体、カラーテレビの買い控え運動◇日本万国博覧会(大阪万博)
1971(S46)	岐阜消費生活協同組合(以下、消費生協)設立飛騨生協10店舗を展開	ニクソン米大統領、金・ドル交換の一時停止、輸入課徴金の徴収を含むドル防衛政策発表(ドル・ショック)
1972(S47)	消費生協 大洞に1号店オープン	第11回冬季オリンピック札幌大会◇消費者米価の「物価統制令」適用除外、標準米価格制度実施◇沖縄の施政権返還(沖縄県発足)◇日中平和友好条約締結
1973(S48)	岐阜地区市民生活協同組合(以下、市民生協)設立	ベトナム和平協定調印◇第4次中東戦争開始◇アラブ石油輸出国機構(OAPEC)石油の生産・供給制限、価格引き上げなど

年度	コープぎふ・県内生協の歩み	協同組合・社会のできごと
		を決定(石油ショックと不況)
1974(S49)		鶴岡灯油裁判始まる◇AF2(合成殺菌・防腐剤)全面使用禁止
1975(S50)	全岐阜県生活協同組合連合会設立	ベトナム戦争終結◇沖縄国際海洋博覧会開催
1976(S51)	消費生協 共同購入事業開始	安八町で長良川堤防決壊9・12集中豪雨◇アメリカ、ロッキード事件◇中国唐山地震
1977(S52)	市民生協 運営委員会活動スタート	海洋2法(領海12カイリ・漁業水域200カイリ)
1978(S53)	市民生協 初めての配送センターが各務原市にオープン◇無添加ハム開発 消費生協 大洞店2階に商品検査室オープン	日米経済交渉合意(オレンジ・果汁輸入枠拡大)◇第1回国連軍縮特別総会◇宮城県沖地震
1979(S54)	飛騨生協 レインボー店オープン	日生協CO-OP共済、セット・生命・火災3制度実施
1980(S55)	市民生協 2番目の配送センターを多治見市にオープン	ICA大会「西暦2000年における協同組合」討議◇イラン・イラク戦争
1981(S56)	市民生協 3番目の配送センターを岐阜市にオープン	「食管法」大幅改正(米の配給割当および購入券廃止)◇中国残留孤児が発来日
1982(S57)	市民生協 班の助け合いについて考え、「班バック(部分的)」開始	第2回国連軍縮特別総会開催◇フォークランド戦争
1983(S58)	市民生協 創立10周年◇「第1回産直交流会」開催	大韓航空機撃墜事件◇日本海中部地震◇三宅島大噴火◇東京ディズニーランド開園
1984(S59)	市民生協 牛乳生産安定基金の拠出◇大垣北、可茂センターオープン 飛騨生協 再建支援活動スタート、及び本格的に共同購入スタート 県生協連 第1回岐阜県生協大会開催	日米農産物交渉、2年半ぶりに決着(高級牛肉の輸入拡大など)◇ICA大会「変化する世界における協同組合」討議◇アフリカ干ばつ飢饉拡大
1985(S60)	市民生協 「ふれあいの家ながら」オープン 消費生協 共同購入電算化スタート	先進5カ国蔵相・中央銀行総裁会議・ブラザ合意◇男女雇用機会均等法成立◇ユニセフ募金活動全国の生協に広がる
1986(S61)	飛騨生協 再建総代会、第1次再建計画スタート	前川リポート(経済構造調整政策)◇バブル経済◇三原山大噴火◇チェルノブイリ原発事故
1987(S62)	市民生協 「3万人虹のフェスティバル」開催、「住まいの研究会」発足 市民生協と飛騨生協業務提携	国鉄分割民営化、JRグループ発足
1988(S63)	市民生協 共同購入改革に取り組み「注文電卓あい」開発◇関美濃センターオープン	第29回ICA大会(ストックホルム、マルコスが「協同組合と基本的価値」報告)◇ぎふ中部未来博◇日米牛肉・オレンジ協定(自由化)
1989(H1)	市民生協 消費税からくらしを守る運動に取り組む◇大垣南センターオープン 飛騨生協 石浦町に本部事務所・配送センターオープン	消費税法施行税率3%◇ベルリンの壁崩壊◇日米構造協議開始◇天安門事件◇昭和天皇死去(「平成」に改元)
1990(H2)	消費生協 共同購入にOCRでの注文システム導入 市民生協 受託共済事業開始(火災共済・たすけあい共済・あいあい等)	東西ドイツの統一◇イラクがクウェート侵攻
1991(H3)	市民生協 1号店「コープながら」オープン 消費生協 20周年フェスティバル開催 飛騨生協 COOP飛騨生協まつり開催	新生産緑地法施行◇台風17号・19号史上最大の台風被害◇バブル経済崩壊◇ソビエト連邦崩壊◇クロアチア紛争
1992(H4)	岐阜県協同組合間提携がスタート 市民生協 「くらしたすけあいの会」発足◇2号店「コープたじみ」オープン	第30回ICA大会(東京、ベークが「変化する世界における協同組合の基本的価値」を報告) ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争
1993(H5)	市民生協 創立20周年 飛騨生協 再建達成。新飛騨生協理事会誕生 東海3ﾌﾞ事業連合設立	ガット・ウルグアイラウンド妥結(米の部分開放・他の農産物関税化)◇米作況指数74、外国産米の緊急輸入◇能登沖地震
1994(H6)	市民生協と消費生協業務委託 飛騨生協 2番目の配送センターを萩原町にオープン 市民生協 3号店「可児店」オープン、住まいの事業スタート	政治改革関連4法◇パレスチナ暫定自治◇北米自由貿易協定(NAFTA)発効◇ロサンゼルス地震◇松本サリン事件
1995(H7)	県生協連 創立20周年記念「くらし協同フェスティバル」開催	ICA創立100周年記念大会(マンチェスター、「協同組合のアイデンティティに関するICAの声明」の採択)◇WTO(世界貿易機関)発足◇阪神・淡路大震災◇地下鉄サリン事件◇「新食糧法」の制定
1996(H8)	市民生協 大垣市、各務原市、可児市と「緊急時の生活物資確保等の協力に関する協定」締結 消費生協 再建計画(1996～1998)開始	生協県連、岐阜県と「緊急時の生活物資確保等の協力に関する協定」締結◇第1回WTO閣僚会議◇O157集団中毒発生
1997(H9)	県内3生協が合併していく方針を総代会で採択、合併準備が本格的にスタート 市民生協 恵那市、柳津町と、飛騨生協 高山市と「緊急時の生活物資確保等の協力に関する協定」締結	香港が英国から中国に返還◇「食糧・農業・農村基本問題調査会」設置◇消費税率5%に引き上げ◇ロシアタンカー遭難、福井県海岸に重油漂着
1998(H10)	消費生協 再建達成 市民生協 たすけあい共済元受事業開始(県認可。日本生協連との共同引受) 11/30 3生協合併総会開催。合併の賛否を問う「書面議決」に取組み、総会で圧倒的多数の「賛成」で「合併」を可決	NPO法施行◇第18回冬季オリンピック長野大会◇新しい全国総合開発計画(「21世紀の国土のグランドデザイン」)◇被災者生活再建支援法成立

3. コープぎふ10年の歩み

(1) 1999年と第1次中期計画(1999~2001)

「楽しくなければ生協じゃない」 合併記念の年、みんなで集いました

1. 合併記念企画「くらしフェスタ99」を各地域で開催しました
県下99市町村の交流を進めようと、くらしの場面のさまざまな活動や商品交流を行い、「くらしフェスタ99」の集いには3万人、店舗の「生協まつり」には2万人が参加しました



地域の集い



店舗のまつり

- ・新聞、テレビ(岐阜放送「らぶらぶワイド」)等にも「コープぎふ」が頻繁に登場しました。
- ・産地、生産者との交流も大いに進みました。

2. 生協は商品とサービスの利用を通じて、くらしに役立つ事業、運動をすすめる組織です
みんなで利用しようと、共同購入では「トクだねコープ」、店舗では「くらしを守る消費税オフ」(消費税分の値引き)ができ、組合員のくらしを応援しました。

3. 人と人との顔を合わせた交流を大切に、「テーマ活動」に取り組みました

共同購入班や組合員どうしがテーマを決めて集まり、1,706グループ、約7,000人の組合員が産地見学や商品学習会などに参加しました。

4. たすけあい活動が広がり福祉事業がスタートしました

- ・岐阜県より「居宅介護支援事業者」として指定され、福祉サポートセンターが発足しました。
- ・1994年度から始まった組合員有志の有償ボランティア活動「くらしのすけあいの会・ぎふ」は会員が527名になりました。

※コープぎふ・くらしのすけあいの会・活動時間の推移
(1999~2008年) (単位:時間)

年度	1999	2000	2001	2002	2003
時間	8,258	8,048	10,248	11,089	7,891
年度	2004	2005	2006	2007	2008
時間	7,684	7,888	8,869	9,642	9,502

合計 89,119時間



コープぎふ福祉サポートセンター(各務原)

5. 合併により、組合員が、県下99市町村に広がりました。

・組合員: 13万7,918人 ・事業高: 245億319万円 ・出資金: 27億2,922万円

(2) 2000年

コープでくらしのすけあい、 家族や地域の輝きを願って

1. 豊かなコミュニケーションの広がり



積み上げた署名



栽培自慢

- ・食の安全・安心と健康に関わって、食品衛生法改正署名を取り組み、全県で218,968筆が集まりました。
- 〈東海コープ事業連合といっしょに〉
- ・東海の各生協の商品検査室を統合して「東海コープ商品検査センター」を開設。
- ・農産物の独自認証制度「栽培自慢」がスタート。
- ・個人宅配の対応として冷凍品、冷蔵品の個人別集品スタート。



検査センター

※ユニセフ募金、自然災害募金の推移(1999~2008年)

(単位:時間)

年 度	ユニセフ募金		自然災害募金	
	ユニセフ総額	指定募金	災害名	募金額
1999	930,000		9・15災害	2,330,000
2000	4,244,172		東海豪雨災害	3,726,721
			三宅島雄山噴火	2,446,678
2001	5,591,714			
2002	5,181,759			
2003	6,758,174	イラク地震	500,000	
2004	6,012,044	スマトラ沖地震	1,248,608	新潟・福島・福井
				2,166,768
				三重豪雨災害
				1,046,768
				台風23号と
				中越地震
				6,764,370
2005	8,969,702	スマトラ沖地震	5,537,495	
2006	5,587,949	ジャワ島地震	856,106	
2007	3,335,587			
2008	6,406,268			

2. 映画「郡上一揆」の製作協力・上映運動を進めました



映画「郡上一揆」制作者の皆さん

J A岐阜県中央会、郡上義民の会など県内・地域の諸団体と一緒に、『岐阜県の歴史を後世に』『食の安全の源は国内自給率を上げること』『農民が元気であること』などをテーマに掲げ、映画の製作協力・上映運動に取り組みました。

監督: 神山征二郎、出演: 緒方直人 他。撮影エキストラ3,500名、ロケ隊への炊き出しなどもがんばりました。

3. 1年間で1万人近い加入者がありました

・組合員: 13万7,576人 ・事業高: 241億1,462万円 ・出資金: 28億1,741万円

3. コープぎふ10年の歩み

(3) 2001年

やっぱり家族の健康が一番大切ね

1. わたしの暮らしに役立つ、わたしの住んでいる地域(岐阜県)に役立つ生協をめざして、3年後の2004年には「こんな生協になりたい」計画(第2次中期計画)をつくりました

はばたけ21世紀・みんなで創る中期計画

- ・組合員1万人アンケートの集約から組合員の暮らしの願いを盛り込んだ中期計画が検討されました。
- ・岐阜産業会館において臨時総代会と、みんなで育ててきた商品の展示・販売・試食などの大交流会を開催。
- ・キーワードは「開かれた組織と参加」「暮らしに役立つ事業」「地域づくりの担い手」
- ・三つの転換は「一人ひとりの暮らし発。それを『受け止められる生協』、「地域発、全県(コープぎふ、岐阜県)への生協」、「出資配当に挑戦しつづけられる生協」です。



大交流会

2. 「コープのお店があつてよかったね」郊外団地に芥見店がオープンしました



芥見店

- ・合併前の小規模の4店舗(大洞店、柏台店、加野店、諏訪山店)を閉店し、売場面積約300坪の芥見店を新規オープンしました。
- ・大洞店跡地は建物を改装し、「大洞虹の家」として組合員や地域の人々が利用できる組合員施設となりました。高齢者の「コープでおしゃべりランチ」「親子料理教室」「商品学習会」など、広く利用されています。



3. 「緊急時における生活物資確保等の協力に関する協定」の発動

- ・4月5日に発生した岐阜・各務原の山火事では、「緊急時の物資確保等の協力に関する協定」にもとづき、各務原市の要請で支援物資供給が初めて発動されました。(協定は1996年に岐阜県と全岐阜県生協連が締結した災害協定をベースに、コープぎふが10自治体と締結している。)
- ・災害支援は地域の中で生協が果たす役割を発揮できたという点で大きな意義をもちました。

4. 笑顔あふれる協同の暮らしを大きくひろげました

- ・コープベル(組合員が、商品や生協について気軽に問い合わせられる窓口)を開設しました。
- ・組合員: 15万2,730人 事業高: 246億6,095万円
- ・出資金: 29億5,665万円

(4) 2002年と第2次中期計画(2002~2004)

おしゃべりの輪があっちでも
こっちでも広がりましたね

1. 「やっぱりこの商品がいいのよ」を伝え合って、広げてきました

- ・各地域で親しまれている郷土食や、慣れ親しんだ味を生かして、合併記念の商品づくりを生産者・メーカーのみなさんと一緒に進めてきました。組合員の声から検討が始まり、自ら商品の開発に携わり、味や規格や包装などにもこだわりました。
- ・通常では取り扱いがない商品を、組合員の「わたしが欲しい商品」リクエスト企画として、のべ971品目のお取り扱いができました。
- 〈東海コープ事業連合といっしょに〉
- ・商品案内書に商品のアレルギー表示とカロリー表示を掲載。
- ・個人利用の方にはOCR用紙で注文スタート。



アレルギー・カロリー表示

【合併記念商品】この年の商品デビューとメッセージ

明方ハム(生協向け)



コープぎふとともに産声をあげた明方ハム。その食感と旨味は、そのまま食べてよし、焼いてハムステーキもよし。これからもこだわりをお届けさせていただきます。

TC若鶏ケイちゃんぴり辛みそ味



自慢の一品「TC若鶏ケイちゃんぴり辛みそ味」のコープ産直若鶏は、ヒナからの飼育期間において抗生物質・抗菌剤を与えないで育てた、安心安全な鶏肉です。

ぎふ飛騨産とまとじゅーす



飛騨産の生食用トマトを使って、好みに合わせて「さらっと」「とろっと」の2タイプ。コープぎふならではの自信作です。おいさを損なわないために包材にもこだわっています。

2. 地域の皆さんと一緒にいろいろなことを進めてきました

- ・大垣市を襲った豪雨災害では、災害募金・ボランティアの呼びかけをすすめ、被災地の方に喜ばれました。
- ・「いのち 自然 つながりだあ〜いすき」のテーマで開催された「第16回牛乳パックの再利用を考える全国大会 in ぎふ関市」、「ともに創ろう 夢ある明日 日本のまんまん中から」のテーマで開催された「きょうされん全国大会」に実行委員会として参加し、協賛金、ボランティアなどで応援しました。

3. 共同購入事業のコープ宅配、インターネット事業(eフレンズ)、コープスマイル便など暮らしに合わせて利用できる事業がさらに広がりました

- ・組合員: 15万370人
- ・事業高: 247億482万円
- ・出資金: 30億6,866万円

3.コープぎふ10年の歩み

(5) 2003年

あなたの声・わたしの声で くらしをひろげてきました

1. わたしの声に応えられる生協づくりへ改革・改善をすすめてきました

- ・可児店の産直豚肉に輸入豚肉を混入して販売した不祥事の再発防止にむけた取り組みをすすめました。
 - (1) 第三者委員会として「対策・改革検証委員会」が発足し、活動をすすめました。
 - (2) 組合員の声で、組合員と一緒に生協の再生に取り組んできました。
 - ・商品探検隊、組合員レポーターなど産地を組合員が目確かめる取り組みを進めました。
 - (3) 「正直・誠実」で風通しのよい職員組織の風土づくりに取り組みました。
 - (4) 組合員に改革・改善の取り組みを、DEKO特別号として報告してきました。

2. わたしの声で、商品のよさを広げてきました

- ・商品を真ん中に身近な地域で商品のおしゃべりの場を広げてきました。
- ・わたしのおしゃべりから、商品の使い勝手の改善（きぬ充填豆腐など）や、くらしに役立つ商品をひろげてきました。



飛騨中華そばのおすすめ

【開発商品】この年の商品デビューとメッセージ

下呂生芋糸こんにゃつちゃん



アク抜き・カット済みのため袋から出して水洗いするだけでそのまま使用できとっても便利です。国産生芋を使用し味しみ・食感も大変良く、鍋やすき焼き等に是非ご利用ください。

麴まんじゅう



組合員さんと作って大変好評な麴まんじゅうの生麴は、小麦粉から抽出したグルテンともちこめ粉や小麦が主原料で、長良川のおいしい水で造る植物性タンパクの食品です。

TC飛騨中華そば



開発以来2度のリニューアルを経て開発当初の希望であった国産小麦100%の中華そばが出来ました、さっぱりとした飽きのこない味をお楽しみください。

3. わたしのくらしに便利な生協を広げてきました

コープ宅配組合員は8,091名に広がり、店舗登録組合員39,729名になりました。あたたかく迅速な対応のコープ共済の給付金額は、8,477件、3億2,950万円となり、たすけあいの輪が広がりました。だれもが住みなれた地域で安心して暮らしていけるように福祉、サービス、住宅事業などの利用も広がりました。

4. 利用が高まりました

・組合員：15万7,731人 ・事業高：250億7,482万円 ・出資金：32億630万円

(6) 2004年 (2005年以降も同様)

安全・安心・信頼の生協づくりにむけて

1. あなた・わたしの『思い』や『願い』を改革・改善に

- ・「安心・安全」そして「信頼」はすべての柱です。可児店の豚肉不祥事から2年が経ち、理事会は最重要課題として、改革・改善の取り組みを継続させてきました。

2. コープぎふ誕生5周年を地域の人たちと一緒にすすめてきました

- ・いつまでも安心してくらしていける地域づくりをめざし、食育、環境、消費者問題（悪質商法学習会）、子育て応援、男女共同参画、福祉などに取り組みました。
- ・台風23号や中越地震など度重なる自然災害に募金活動（約1,100万円）と、被災地へのボランティア活動に参加しました。
- ※ここ10年で「緊急時の生活物資等の協力に関する協定」は、岐阜市、多治見市、飛騨市、瑞穂市と新たに締結し、現在10自治体（上記に加え、大垣市、高山市、恵那市、各務原市、岐南町と締結済）となっています。



地域のつどい

3. 「おいしい」「よかった」「ほしい」の声をだしあいました

- ・「こんな商品があったらいいな」から商品をつくってきました。
- ・リクエストに応じて42品が登場、組合員参加の商品づくり活動により8品が実現しました。

【開発商品】この年の商品デビューとメッセージ

TC煮込み酢



「酢を使った料理を身近に」をテーマにコープぎふの組合員さんと開発しました。今ではお子様にも人気のある商品です。

TC若鶏のケイちゃんしょうゆ味



コープ産直若鶏のムネ肉、モモ肉使用。ニンニクと生姜を効かせたしょうゆ味です。ピリ辛感をおさえ、お子さまにも食べやすくしています。

4. くらしに合わせて利用できる事業がさらに広がりました

- ・組合員の商品リクエストから「声をカタチに商品案内」を始め、商品の取り扱いを広げてきました。
- ・身近な地域で商品の受取りができるステーションを柱に、生協加入者と利用拡大に取り組みしました。
- ・新たに長良店2階に「福祉サポートセンター岐阜」を開所しました。

- ・組合員：16万6,086人
- ・事業高：248億3,793万円
- ・出資金：33億5,825万円



福祉サポートセンター・岐阜 開所式

3. コープぎふ10年の歩み (7) 2005年度すすめてきたこと、第3次中期計画(2005～2007)

「ありがとう」「おたがいさま」を いっぱいひろげてきました

1. 「生協があつてよかったね!!」 安心してくらせるまちづくりをすすめました

- ・困ったときは声をかけてね! 「子ども110番」「防犯パトロール」をすすめてきました。
- ・岐阜県安全・安心まちづくりフレンドリー企業に登録し、また取り組みに対して県より表彰を受けました。
- ・新たに、アレルギーを考える商品、家電修理、葬祭事業などがスタートしました。



防犯パトロール出発式

2. 被爆60年「やっぱり平和がいいね」を次の世代につなげてきました

- ・被爆60年として劇団「地人会」の朗読劇「この子たちの夏」(コープぎふ・岐朋会・岐阜新聞と共催)の上演、「戦争体験聞き書きコンクール」などに取り組みました。

3. わたしの「やってみたい・しゃべりたい」を応援するしくみづくりをすすめました

- ・おしゃべりパーティー：9,819セット、Let'sチャレンジ：2,160チャレンジの申し込みがあり、班利用の組合員さんにも、個配の組合員さんにも喜ばれました。

おしゃべりパーティーから

家族も少人数ということもあり、決まった商品しか買わないことがほとんどで、試食もしたことがなかったそうです。配達時の袋の中も数個入っているのがほとんどでした。「もし買っても、気にいらなかったり、食べきれなかったらどうしよう」という思いから、新しい商品を試すことができなかったのですが、今回のおしゃべりパーティーで班のメンバーと一緒に食べることができ、良かったという感想をもたれたようです。(岐阜南)

【開発商品】この年の商品デビューとメッセージ

板とうふ



県内の契約栽培大豆と伊吹山麓の伏流水で造りました。濃いめの豆乳と多目のにがりで濃縮したお豆腐です。和・洋・中と色々な料理にお使いください。

こもとうふ



こも豆腐は全国でも珍しい変わり豆腐です。堅めの豆腐を「す巻き」にした手作り豆腐。煮物、鍋物、すき焼き利用等にどうぞ。

TC野付産秋鮭切身(骨抜き)



野付産の良質な秋鮭を使用し、小骨を一本一本手で丁寧に抜き、様々な料理に使えるよう味付けせずに急速凍結したこだわりの商品です。

〈東海コープ事業連合といっしょに〉

- ・東海コープ商品検査センターに新検査機器(ガスクロマト質量計、液体クロマトグラフ)を導入して農薬等のポジティブリスト制度へ対応。
- ・組合員：17万1,937人 事業高：252億1,387万円
- ・出資金：34億7,421万円

(8) 2006年度すすめてきたこと

笑顔とありがとうでつなげよう!あなたと わたしとみんなの暮らし

1. 暮らしの安全・安心をもっと身近なものにするために

- ・地域の福祉の広がりを願って「福祉活動助成基金」を創設し、7月に20団体：475万円の贈呈を行いました。
- ・悲惨な戦争を後世に伝えようと戦争体験聞き書き活動に取り組み、『聞き書き』(第1集)を発行しました。



助成金贈呈式

2. 地域の暮らしにあったお店づくりをすすめました

- ・長良店・尾崎店のリニューアルオープンを行い、過去最高の来店者を迎えました



長良店



尾崎店

【開発商品】この年の商品デビューとメッセージ

赤かぶ菜とこんぶのしょうゆ味



飛騨の赤かぶの茎の発酵漬に昆布を加え煮干の出汁と醤油で煮た惣菜です。懐かしい味をご賞味頂きたいです。

2分半de生パスタ



ゆで時間2分半、今またより手軽に利用して頂けるようリニューアル、来春には新しい顔で登場で登場する予定です。

TCミニとうふ(もめん、きぬ)



国産大豆と長良川の伏流水を使用し、豆腐にコクと甘みがあります。一丁一丁丹精込めて作っています。ぜひご賞味下さい。

便利な細切りこんにやく



便利に使えるこんにやくがあったらいいなと声で組合員さんと一緒に開発しました。約4cmの長さにカット済みです。

〈東海コープ事業連合といっしょに〉

- ・畜産物の独自認証制度「はぐくみ自慢」スタート。

3. 生協事業の良さを広げてきました

- ・岐阜県の世帯数に対する加入率は25.1%となり4軒に1軒の割合となりました。
- ・葬祭事業・家電修理の対応エリアを拡大しました。レンタルモップの取り扱いを開始。
- ・個人宅配料(304円⇒262円)・ほほえみ制度利用料(199円⇒157円)を引き下げました。
- ・組合員：18万0,745人 事業高：254億5,895万円 出資金：36億177万円

はぐくみ
自慢マーク

3. コープぎふ10年の歩み

(9) 2007年度すすめてきたこと

つながりを実感し、「良かったね」をひろげ、深めてきました

1. 組合員がお店を元気にし、お店が組合員を元気にします



可見店

- ・可見店で増床・リニューアルして売場面積が430坪になりました。
- 〈東海コープ事業連合といっしょに〉
- ・注文のしくみを注文電卓からOCR注文に全面切り換え。
- ・コープ電話注文センター開設。



OCR注文書



注文伺い

【開発商品】この年の商品デビューとメッセージ

スモーク薫るロースハム



おいしくてはがし
やすい、そして、ス
モークの薫りにこだ
わりました。
ネーミングもとて
も気に入られていま
す。

私入院することになったの
だから予約登録できる商品はなるべく予約登
録して、あとは子どもに注文させるわ。荷受
は旦那が出るから。
お弁当のおかずとか、夕飯のおかずはなるべく
簡単にできるもの。子どもが知っているから
注文できるよ。本当に生協をやっている良
かった。助かるわ〜。ありがとう！！
(組合員の声から)

2. みたい、ききたい、やりたいを応援しました

- ・おしゃべりパーティーへには、62,956人の参加者があり、人と人とのつながりが広がりました。
- ・Let'sチャレンジの参加を広げくらしの広がりを応援してきました(1,599件のチャレンジ)。

3. 2008年1月30日の報道で「コープ手作り餃子農薬混入事故」が発覚

組合員、消費者のみなさまに大変なご迷惑とご心配をおかけしました。今回の事件は、国民全体の食の安全・安心を根底から脅かすものであり、生協への信頼や期待を裏切ることとなってしまいました。緊急取り組みとして、①商品の検査・点検(残留農薬検査、品質管理や労務管理などの工場点検) ②商品情報の開示(原産地・原料案内) ③中国で製造される商品の管理状況の点検(安全性を確認してから取り扱い) ④「食の安全情報」の発行回数を増やし、ホームページでも原産国を掲載します。(2008年3月10日DEKO特別号より抜粋)

4. くらしに役立つ事業づくりをすすめました

- ・班という「つながり」を大切にしつつ、個人でしか利用できない方を応援してきました。
- ・ステーション(特定の場所での商品受け取り利用)などでは組合員とのコミュニケーションを大切に商品の良さを伝えることに努力してきました。
- ・組合員: 18万7,849人
- ・事業高: 259億6,734万円
- ・出資金: 36億2,184万円

(10) 2008年度すすめてきたこと、第4次中期計画(2008~2010)

1. みんなで「食の安全」をたしかめ、一人ひとりの“安心”につなげることに努力してきました

○日本生協連の品質保証再構築計画

「コープ手作り餃子重大中毒事故」をうけて設置された第三者検証委員会の提言と3つの強化委員会(品質管理対策強化、お問い合わせ・苦情対応強化、クライシス対応強化)の検討をもとに「CO-OP商品の品質保証の再構築計画」を策定し、2008年6月の日本生協連の総会で確認しました。この間の一連の事故を受けて日本生協連として偽装や事故の予兆をとらえ、十分な品質管理や危機管理ができなかったことを踏まえ、再構築計画の基本的な視点は原料から加工、生産製造の管理から流通、販売、更なる事故対応まで、コープ商品のブランド責任者としての役割を果たすための11テーマ156項目の課題を設定しています。

- ・生協商品の産地見学をしたいけどどうしたらいいの? どうやって申し込むの? どんなメーカーさんがあるの? 何人ぐらいで見学できるの? そんな声にお応えして岐阜県内の産地やメーカーさんを紹介した産地見学マップをつくりました。
- ・商品交流会・学習会・地域のまつりなどに参加いただいた生産者、メーカーさんは1,600を超え、組合員の参加は14万人を超えました。直接お話しすることで安全を確かめ、安心が広がりました。



わくわく産地見学マップ

2. 社会的責任経営(CSR)の推進に努力してきました

- ・「環境政策」を策定しました。
- ・マイバック・リサイクル運動から生まれた「環境活用基金」をマイバック運動の推進、組合員の環境活動応援、社会貢献に活用することを決めました。
- ・可見店では、アルミ付飲料パックの回収を開始しました。
- ・球温暖化防止1000万人のくらしの見直しキャンペーンにはのべ210,926人の参加がありました。

【開発商品】 この年の商品デビューとメッセージ

トマト



岐阜県産「生食用トマト」の美味しさを、
1人でも多くの方に伝えたくて、組合員の皆
さんと開発をしました。

3. 「コープデイサービス蘇原」が 10月にオープンしました



コープデイサービス蘇原

- ・組合員: 19万2,933人
- ・事業高: 257億6,478万円
- ・出資金: 37億6,485万円

3. コープぎふ10年の歩み

(11) 2009年度

つながりを実感し 「生協っていいね!」を広げましょう

1. 合併10周年の年=2009年度みんなですすめています



総代会のようす

第1の柱 自分でたしかめることを大切に、「食の安全・安心」の願いを、一人ひとりの力とつながりで実現しましょう。

第2の柱 わたしの声から始まり、つながりを地域で広げましょう。

第3の柱 「楽しい」「便利」「つながり」「おしゃべり」のある事業をつくりましょう。

第4の柱 コープぎふ10周年に感謝し社会の一員として地域に役立つことを目指します。

恵那店オープン (3月25日)



恵那店

※福祉活動助成基金の助成の推移

(単位:時間)

年度	金額	団体数
①2006	475万円	20
②2007	341万円	24
③2008	363万円	22
④2009	367万円	21

コープぎふでは、組合員が参加する福祉活動の応援、地域福祉の向上をめざし、2006年度より助成基金の運用を開始し、4年間で87団体に1,546万円の助成を行いました。

2010年度、年間の助成総額500万円を限度に募集を行っています。

福祉活動助成金を受けて

配食サービスをやってきたのですが、閉じこもりがちな人にも出てきてもらいたいと、長年の夢だったサロンをこの度精米蔵を改装してつくることができました。子どもからお年寄りまで、皆が集まれる場所としてサロンを始めました。これからもがんばっていきますので応援してください。

(NPO法人やまびこ 美濃市)

(11) 2009年度

ありがとう つながりあって 明日へ 未来へ

1. コープぎふ10周年記念事業進めています

1999年3月21日、飛騨生協、岐阜消費生協、岐阜地区市民生協の3生協が合併しコープぎふが誕生しました。

岐阜県全域をエリアとする生協として、この10年の中で芥見店・恵那店のオープン、可児店を始めとする店舗リニューアル、全県に広がるコープステーションやコープ宅配、福祉活動助成基金の創設、コープディサービス蘇原オープン、葬祭事業の開始、おしゃべりパーティー、戦争聞き書きの取り組みなど様々な事業や取り組みを進め、地域の暮らしに貢献するとともに県内になくてはならない生協となれるよう活動を続けてきました。

10周年を記念し、これまでコープぎふを支えていただいた様々な人たちへの感謝と、生協でのつながりを実感しあい、これからの飛躍をめざし、記念事業を行います。

1「ありがとう」(感謝)

生協を支え一緒に活動してきていただいた組合員さん、生産者・メーカーさん、地域の方々、職員のみなさんへの感謝の気持ちを表す企画が盛りだくさんあります。



産地見学風景

2「つながりあって」(実感)

組合員として、お取引先の生産者・メーカーさん、職員としてかかわってきたことで得たものを改めて実感できる企画を行います。

3「明日へ、未来へ」(飛躍)

組合員、地域社会の人たちが安心してくらせる未来をめざし、事業と活動の広がりを強めます。



店舗10%割引

さらなる飛躍のステップのために

◎岐阜県の豊かな自然を守るために

コープの森づくり

岐阜県には豊かな森があり、二酸化炭素を酸素に換え、そこから流れ出る多くの川が海に注いでいます。森を守るとは、豊かな海をはくむとともに地球環境を守ることにもつながっています。

生協では、社会に貢献できる取り組みのひとつとして、岐阜県の森を守る取り組みをスタートさせます。

河川環境ボランティア

豊かな森から流れ出る川はふるさと岐阜県の自慢です。その河川を清掃するボランティア活動を計画します。

地域のみなさんへの感謝をこめて

◎いのちを守るために

コープぎふ献血推進活動

病気やケガの時に輸血される血液を準備するために献血活動が行われています。(合併する前の岐阜地区市民生協20周年企画では献血接遇車を寄贈しました。)

生協では、献血活動についてより多くの人にご理解いただく活動を進め、備蓄血液の不足解消に貢献します。

これ以外にも、コープぎふの事業にご理解とご協力をお寄せいただいている方々への感謝とさらなる飛躍を目指した事業を計画しています。

3.コープぎふ10年の歩み

(12) 2015年ビジョンへ

東海コープグループ 2015年理念・ビジョン案

未来につながる あんしん生活

東海の豊かな自然と、
人と人のつながりを
大切にします

私たち東海コープグループは、改正生協法で生活協同組合の役割として期待されている社会的責任を果たし、組合員の願いや地域社会の期待に応えるために、食の安全を第一に、ふだんのくらしに役立つ事業を確立します。そして、組合員の多様な参加による社会に開かれた組織づくりをすすめ、消費者組織としての役割をさらに発揮し、地域社会に貢献できる存在をめざします。



生活協同組合
コープぎふ
専務理事
佐藤 圭三

コープぎふが誕生し10周年を迎えました。

“笑顔あふれる協同のくらし”の理念の下、2010年にならなたい生協の姿(ビジョン)を描き「開かれた組織と参加」「くらしに役立つ事業」「地域づくりの担い手」の実現を目指してきました。

21世紀に入りくらしをとりまく情勢は大きく変化しており、その中で、常に変化対応すべく試行錯誤を繰り返しています。これまで、“つながり”を大切にしながら現在の到達点を築いてくることができたのは、大勢の方の支えがあったからこそと、心より御礼申し上げます。

同時に、コープぎふの歴史は事業連帯の歴史でもあるといえます。東海地域の4つの生協は、設立当初からお互いに連帯し、協同しながら事業経営を進めてきました。1994年には東海コープ事業連合を設立して、商品の開発や調達、品質管理、物流システムの共同化を進めてきました。現在では東海3県で73万人の方に利用していただく規模に成長しました。取り扱う商品数や、品質管理の水準、注文やお届けのしくみ、お知らせできる情報量、など飛躍的に向上しました。

これからも経済や社会が変化するにつれ、生協への期待はますます高まります。東海の4生協と事業連合は“つながり”の力をさらに強め、“東海コープグループ”として基本的な考え方や目指す方向を一致させていくことを決めました。「未来につながるあんしん生活」は、東海の4生協と事業連合が2015年にならなたい姿として検討している“ビジョン”です。

“東海コープグループ”として100万世帯を目指し、その力で、商品の「安全・安心」「おいしさ」「利用しやすさ」を高め、便利で利用しやすい無店舗事業や、ほしい商品が売場に並び店舗事業をつくり、組合員参加と地域でのつながり・協同を広げ、よりくらしへのお役立ちを高めていきます。

(12) 2015年ビジョンへ

東海コープグループの4生協について

東海コープグループの4生協は、それぞれの地域で、安全で安心できる食品を求める消費者の運動が発展し、1960年後半から1980年前半にかけて設立されました。それぞれの生協は、地域は異なりますが、協同組合の理念に基づく同じ想いで、設立当初からお互いに密接な連帯・協同関係を保ちながら活動を進めいく中で成長してきました。その後、県内合併なども経て、現在の4つの生協となっています。

また、めいきん生協と、みかわ市民生協は、現在、あいちの新しい生協づくりに向けて合併の準備をしています。

08年度 東海コープグループ DATA

組合員合計	71.3万人
総事業高合計	1035億円
東海三県食品売上ランキング	8位

4生協合計

組合員数	713,319人
地域加入率	15.4%
総事業高	1,035億円
無店舗事業	818億円
店舗事業	153億円
福祉事業	16億円
共済その他	49億円
出資金・剰余金	175億円
総資産	406億円
配送センター	44
店舗	28
職員数合計	4,980名

コープぎふ

設立※	1999年3月21日
理事長	川崎直巳
本部所在地	岐阜県各務原市
組合員数	192,933人
地域加入率	26.4%
総事業高	270億円
無店舗事業	212億円
店舗事業	44億円
福祉事業	1億円
共済その他	13億円
出資金・剰余金	70億円
総資産	113億円
配送センター	11
店舗	6
職員数合計	1,298名
職員数	301名
定時職員数	997名

※コープぎふは、岐阜地区市民生協（'73年）、飛騨生協（'63年）、岐阜消費生協（'71年）が合併し、設立されました。

コープみえ

設立※	2003年3月21日
理事長	茂木 穰
本部所在地	三重県松阪市
組合員数	143,615人
地域加入率	20.2%
総事業高	192億円
無店舗事業	183億円
店舗事業	3億円
福祉事業	0.1億円
共済その他	6億円
出資金・剰余金	44億円
総資産	67億円
配送センター	13
店舗	2
職員数合計	506名
職員数	223名
定時職員数	283名

※コープみえは、三重県市民生協（'73年）、みえきた市民生協（'81年）、伊勢消費生協（'74年）、みやがわ生協（'73年）が合併し、設立されました。

めいきん生協

設立	1969年3月11日
理事長	寺本康美
本部所在地	愛知県名古屋
組合員数	272,004人
地域加入率	11.7%
総事業高	419億円
無店舗事業	310億円
店舗事業	78億円
福祉事業	5億円
共済その他	25億円
出資金・剰余金	95億円
総資産	166億円
配送センター	14
店舗	14
職員数合計	1,949名
職員数	468名
定時職員数	1,481名

みかわ市民生協

設立	1974年3月12日
理事長	八木憲一郎
本部所在地	愛知県豊橋市
組合員数	104,767人
地域加入率	12.0%
総事業高	154億円
無店舗事業	113億円
店舗事業	27億円
福祉事業	10億円
共済その他	5億円
出資金・剰余金	36億円
総資産	60億円
配送センター	6
店舗	6
職員数合計	1,227名
職員数	181名
定時職員数	1,046名

東海コープ事業連合

設立	1994年2月12日
理事長	寺本康美
本部所在地	愛知県名古屋市
物流センター	6
検査センター	1
職員数合計	707名
職員数	195名
定時職員数	512名

2009年3月20日現在

4. コープぎふの現在

(1) 組合員活動

■理 念■

「笑顔あふれる協同の暮らし」

わたしたちの願いは、すべての人たちのしあわせです。健康を願い、文化的な生活を求め、平和な社会を築くことです。そのためにわたしたちは、伝統的な文化や産業、みどり豊かな山々、そしてきれいな水にめぐまれたこの岐阜県をこどもたちや孫たちの世代に伝え残していきます。

わたしたちはお互いに支えあい、協同の力で人間らしい暮らしの創造と、平和で豊かな地域社会の実現をめざします。それは、暮らしと個性を大切に生活者が主体となる新しい社会をつくっていくことです。地域の自然環境、農林水産業を大切に、安心して子育てができ、だれもがともに心豊かにすごせる地域社会をつくっていくことでもあります。

わたしたちの生協は、これまでに多くの方々と築いてきたつながりをさらに広げ、くらしづくりを応援できる事業を通して、豊かなくらしを求め、安全な食生活、環境保全、活力ある地域づくりに貢献していきます。

■2010年ビジョン■

開かれた組織と参加

誰もが参加でき、地域ごとにみんなでくらしを一緒につくる組織

くらしに役立つ事業

岐阜県全域で、食を中心とした日常生活全般に貢献できる事業を展開

地域づくりの担い手

地域と社会になくてはならない生協

■行動指針■

「喜び、よろこばれ、ともに創り出す」

ひとりひとりがコープをささえています

出資 生協の事業を進めるための必要な資金は、みんなが少しずつ寄せ合っています。

出資金を預け入れることで組合員になります。

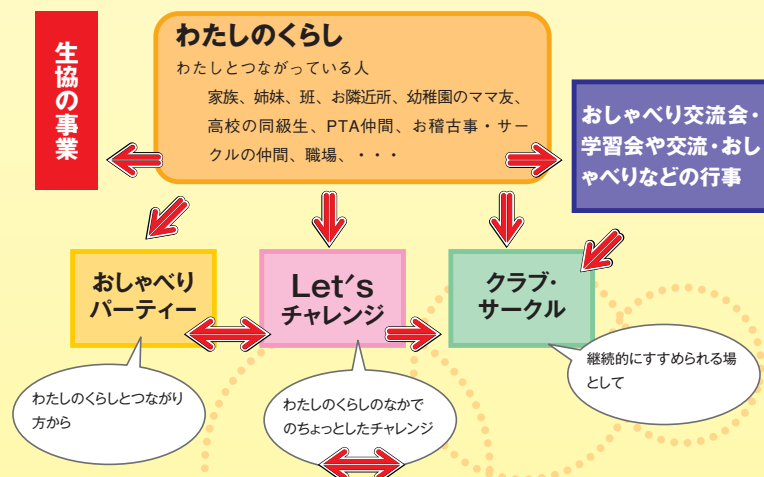
利用 コープの共同購入、お店などを利用しましょう。商品をみんなでよりよいものに、育てていきましょう。

運営 生協は組合員の声をもとに運営されています。意見や要望を反映させるために、さまざまな参加のしくみや機会があります。

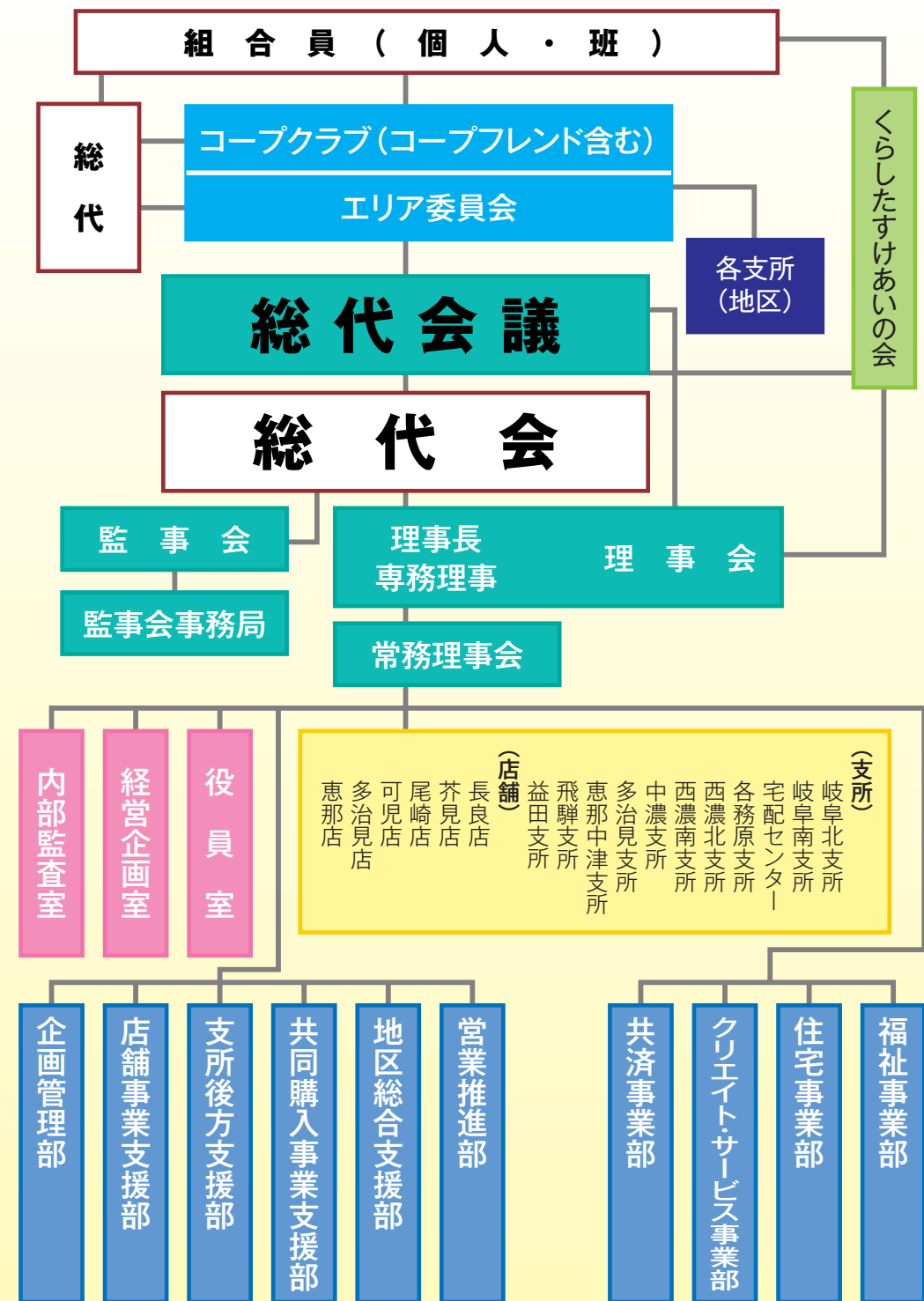
組合員活動

組合員活動とは、1人ひとりの組合員が商品やサービス事業を利用することで“生協”と出あい、そこから「私のくらしをより良くしたい」という願いを、いろいろな人とのおしゃべりや行動する中で実現し解決していくことです。」

※コープぎふでは11の地域にエリア委員会があり、エリア委員会は組合員が「やりたい。やってみたい。」と思ったときに相談やアドバイス、つながりづくりの応援をします。



コープぎふの運営組織図



■生活協同組合コープぎふ・歴代理事長、専務理事名簿

年 度	理事長	専務理事	年 度	理事長	専務理事
1973～1976	御園 喜博	(1973～1976) 岩井 稔	1993～2007	水野 隼人	(1993～2001) 川崎 直巳
1977～1992	千田 正作	(1977～1991) 水野 隼人 (1992) 川崎 直巳	2008～	川崎 直巳	(2002～2007) 高木 丈一 (2008～) 佐藤 圭三

※ 1973～1998年 岐阜地区市民生活協同組合, 1999～ 生活協同組合コープぎふ

4. コープぎふの現在

(2) 事業活動

共同購入

グループ購入

- ご近所のお友達・お仲間といっしょにご利用できます。
- 勤務先の職場などでもご利用いただけます。
- 商品はグループでまとめてお届けします。みなさんで商品の受け取りを行います。
- 利用料は無料です。

ステーション購入 (県下にステーション展開中！)

ご注文いただいた商品をコープステーション(商品受取施設)で受け取るしくみです。ご都合の良い時間にお受け取りください。受け取り時間は13時～19時の間です(一部受け取り時間が違うステーションもあります)。受け取りは、毎週決まった曜日になります。みなさんのお住まいの地域にもステーションはありますよ。利用料は無料です。

インターネット・携帯電話から注文

- 「e-フレンズ会員」になると、インターネットでグループ購入・個人宅配・ステーション利用などの注文ができます。また、e-フレンズサイト限定企画やアウトレット企画などもご利用できます。
- e-フレンズでご登録いただいたメールアドレスには、OCR注文用紙や電話等でご注文いただいた商品を含めた注文明細メールを配信しています。
- ご利用には「e-フレンズ」会員登録(無料)が必要です。
- 組合員さんはどなたでもコープぎふのホームページからご登録いただけます。



コープ宅配(個人宅配)

- ご注文いただいた商品をご自宅の玄関先までお届けします。お留守の場合でも保冷容器に入れてお届けします。

- 利用料は1回につき **262円(税込)**

利用料は割引制度があります…

ほほえみ制度の利用料は
1回につき**157円(税込)**

- ほほえみ制度の対象となる方は

- 母子手帳交付日から満2歳の誕生日までのお子様がおみえになる世帯。
- 65歳以上の方のみでお住まいの世帯。
- 障害や特定疾患をお持ちの大家族と同居されている世帯など。

詳細につきましてはお気軽にお問い合わせください。



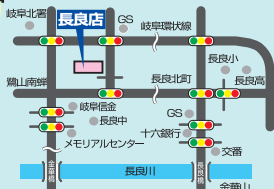
アレルギーを 考える商品

アレルギーでお困りの方の食生活をサポートします。各種素材から加工食品、調味料、お菓子、書籍等を専用保存版カタログ「アレルギーを考える商品」でご紹介しています。まずはカタログをご請求いただき、電話、FAXで商品をご注文ください。お届けは、グループ購入・コープ宅配・コープステーション、または宅配便となります。



コープのお店

長良店 〒502-0815 岐阜市福光南町7



芥見店 〒501-3133 岐阜市芥見南山3-2-17



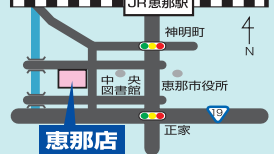
可児店 〒509-0203 可児市下恵土2817-1



多治見店 〒507-0825 多治見市京町4-109



恵那店 〒502-7205 恵那市大崎土地区画整理地内17街区



尾崎店 〒504-0004 各務原市尾崎西町5-30



福祉サービス事業

◆ケアプラン作成。

介護保険制度の利用相談から最適なケアプランの作成までと一緒にしてお作りします。
(各務原市・岐阜市・岐阜南・関市の一部)

◆訪問介護・ホームヘルパー派遣。

身体介護・生活支援(買い物・調理・そうじ・洗濯・入浴や排泄のお世話など)。日常のお手伝いをさせていただきます。
(各務原市・岐阜市・岐阜南・関市の一部)
ヘルパー募集集中!
(詳しくは下記フリーダイヤルへ)

◆福祉用具レンタル・販売。

専任の福祉用具専門相談員がご相談や車椅子など福祉用具の選定のお手伝いをいたします。
バリアフリー・住宅改修のご相談も請け賜ります。
(各務原市・岐阜市・岐阜南・関市・笠松町・大垣市・可児市)

◆コープデイサービス蘇原

小規模施設ならではの利用者おひとりおひとりの生活の流れを尊重したサービスをしています。
住所: 各務原市蘇原熊田町3-111
営業日: 月曜日から金曜日
サービス提供時間: 午前10時から午後4時30分
(サービスエリア 各務原市)

◆ホームヘルパー2級、ガイドヘルパー養成研修実施。

◆くらしのすけあいの会・おたがいさま ひと

「おたがいさま」を合い言葉にボランティア精神に基づいて、有償でおこなう組合員活動です。食事作り、掃除、草とり、買い物、犬の散歩など、誰もができることをお手伝いします。

CO・OP共済

全国で約680万人。コープぎふでは約10万人、たくさんの方に加入いただき、今年もまた商品改定ができました。ありがとうございます。まだ加入していないというあなたも、たすけあいの輪に入りませんか?

CO・OP共済 《たすけあいの会》《あいぶらす》《新しいあい》《火災共済》
保障内容についてのお問い合わせや資料請求、クガ通院・入院・死など共済金の申請、住所・氏名・振替口座の変更や解約など

忘れていませんか? 共済金のご請求

CO・OP共済センター
☎0120-161-913
受付時間 月曜～土曜 午前9時～午後6時(土曜祝日も営業)

保障の見直ししませんか?

コープぎふ共済事業部

CO・OPが おすすめする保険

〈コープのケガ保険 あんしん生活〉(団体がん保険)(自動車保険)(アフラック各種(終身の生命・医療・がん、学資等))を扱っております。保障相談や見積もりだけでも喜んでさせていただきますので、お気軽にお問い合わせください。



安心・安全+信頼を目指す 住まいの事業

組合員さんに安心してご利用していただけることを目指して、地元の信頼できる住まいの専門家(建築士、施工業者、床下対策、たみ業者等)とそれぞれ事業提携をして「住まいの事業のしくみ」をつくり、岐阜県内全域での対応をすすめています。



生協の新築

リフォーム

小さな営繕工事からどんなことでも、地域担当の施工業者が責任を持って対応します。
※コープのリフォームは「+1」の付加価値をご提案します。

白あり対策

「薬剤に頼らない床下対策」をモットーとした、床下全般的環境改善提案をすすめます。

畳・襖

有機肥料を中心に栽培した「国産たたみ表」の扱いを中心に、価格と内容を明確にした畳・襖の扱いをしています。

住まいの総合診断

建築士による建物の「劣化診断」や「簡易耐震診断」など、総合的な診断を行います。

設計と施工の分離を掲げ、「建築士」と一緒にすすめる住まいづくりを行います。
※環境配慮型の住宅設計をすすめます。

一人ひとりのくらしの シーンをお手伝いします

自動車学校(宿泊制/通学制)、貸衣装、引越、呉服、宝石、家具、頒布会(手芸・花)、エアコンクリーニング、手芸頒布会、ミニチュア制服製作、家電修理会などをはじめ、下記のサービス事業も行っております。「からふる」や「チケット案内」もぜひご覧ください。

旅行 レンタルモップ

チケット

ピアノ調律

ふとんの打ち直し

メガネ(眼鏡市場)

ふとん丸ごと水洗い

葬儀に関するご相談はコープぎふ葬祭事業窓口へ!

喪主や親族の想いを大切に、わかりやすい案内とサービスで葬儀のお手伝いをいたします

自治体別加入率 (2009年3月20日現在)

自治体名	世帯数	組合員数	加入率	自治体名	世帯数	組合員数	加入率
恵那市	18,348	7,480	40.77%	美濃加茂市	19,964	4,837	24.23%
多治見市	40,984	15,594	38.05%	大野町	6,959	1,680	24.14%
可児市	35,849	12,448	34.72%	揖斐川町	8,225	1,951	23.72%
下呂市	12,534	4,346	34.67%	山県市	9,633	2,264	23.50%
白川町	3,119	1,072	34.37%	神戸町	6,457	1,495	23.15%
東白川村	864	292	33.80%	坂祝町	3,215	731	22.74%
八百津町	4,042	1,280	31.67%	本巣市	10,721	2,376	22.16%
中津川市	28,415	8,976	31.59%	垂井町	9,432	2,055	21.79%
川辺町	3,484	1,040	29.85%	関ヶ原町	2,708	590	21.79%
御嵩町	6,373	1,862	29.22%	養老町	9,476	1,973	20.82%
富加町	1,705	474	27.80%	北方町	6,682	1,358	20.32%
関市	32,641	9,012	27.61%	安八町	4,836	921	19.04%
美濃市	7,817	2,136	27.33%	海津市	11,406	2,172	19.04%
高山市	32,100	8,733	27.21%	瑞穂市	19,164	3,626	18.92%
瑞浪市	13,999	3,789	27.07%	大垣市	58,971	11,043	18.73%
土岐市	20,876	5,516	26.42%	輪之内町	2,751	503	18.28%
各務原市	50,784	13,354	26.30%	羽島市	22,642	3,767	16.64%
岐阜市	154,065	40,492	26.28%	岐南町	8,743	1,440	16.47%
郡上市	14,842	3,707	24.98%	笠松町	7,842	1,070	13.64%
七宗町	1,494	370	24.77%	白川村	755	71	9.40%
池田町	7,562	1,842	24.36%	その他	0	1,015	0.00%
飛騨市	8,992	2,180	24.24%	合計	731,471	192,933	26.38%

コープぎふ10年の歩み

年表②

年度	コープぎふ10年の歩み	協同組合・社会のできごと
1999(H11)	◇3月21日生活協同組合コープぎふ誕生◇コープぎふの理念・ビジョン「笑顔あふれる協同の暮らし」と第1次中期計画(～2001)◇機関紙「DEKO」創刊◇合併記念企画「暮らしフェスタ99」開催◇マイコープ99商品ラリー◇暮らしを守る消費税オフ活動◇アレルギー対応商品企画開始◇コープぎふ福祉サポートセンター発足	◇第14回国民文化祭岐阜にて開催◇「食料・農業・農村基本法」(新農基法)の制定◇男女雇用機会均等法施行◇改正住民基本台帳法◇情報公開法成立◇トルコ西部地震◇台湾大地震
2000(H12)	◇食品衛生法改正署名に取組み(20万筆以上)◇映画「郡上一揆」製作協力・上映運動◇合併記念商品:T/C(東海コープ開発商品)若鶏ケイちゃんピリ辛みそ味、明方ハム(生協向け)等の開発◇農産物「栽培自慢」認証表示スタート◇共同購入事業改善:商品案内書、新注文電卓、お酒の全地区利用◇福祉サポートセンターに介護用品商品ルーム完成◇子育て支援のとりくみ開始◇国際環境規格ISO14001認証取得◇旅行業登録	◇介護保険制度導入◇地方分権一括法施行◇過疎地域自立促進特別措置法制定◇雪印乳業の集団食中毒事件◇鳥取県西部地震◇北海道有珠山噴火、三宅島雄山噴火◇東海集中豪雨(激甚災害)◇白川英樹にノーベル化学賞
2001(H13)	◇芥見店オープン(小規模4店舗を閉店)◇組合員施設大洞虹の家オープン◇長良店10周年祭◇下三之町(酒店)閉店◇2004年に向けて第2次中期計画策定へ組合員1万人アンケート実施◇「やっぱり家族の笑顔が一番大切ね大交流会」開催◇共同購入個人別班パック、ほほえみ制度導入◇岐阜市、各務原市山火事に災害協定発動◇岐南町と「緊急時の生活物資確保等の協力に関する協定」締結	◇9月11日アメリカ同時多発テロ事件◇多国籍軍アフガニスタン侵攻◇小泉内閣発足◇中央省庁再編◇雪印牛肉偽装事件(補助金搾取)◇国内初の狂牛病(BSE)発生◇高橋尚子がベルリン・マラソンで優勝◇野依良治にノーベル化学賞
2002(H14)	◇第2次中期計画(2002～2004)◇インターネット事業(e-フレンズ)◇コープスマイル便スタート◇コープ宅配スタート◇組合員表示ウォッチャー養成講座開始◇大垣市豪雨災害へボランティア・災害募金活動◇牛乳パックの再利用を考える全国大会、きょうされん全国大会開催へボランティア応援◇商品デビュー:明方ハム(生協向け)、TC若鶏ケイちゃんぴり辛みそ味、ぎふ飛騨産とまとじゅーす	◇初の日朝首脳会談◇EU域内12カ国、通過をユーロに統合◇都市再生特別措置法◇地方の雇用不安が深刻化◇小柴昌俊にノーベル物理学賞、田中耕一にノーベル化学賞◇FIFAワールドカップ・韓国／日本開催
2003(H15)	◇可児店の産直豚肉に輸入豚肉を混入して販売した不祥事発生◇全職員で再発防止のしくみづくり◇第三者委員会「対策・改革検証委員会」の設置◇組合員商品探検隊、組合員レポーターなど産地訪問◇岐阜市と「緊急時の生活物資確保等の協力に関する協定」締結◇商品デビュー:下呂生芋糸こんにゃつちゃん(カットした糸こんにゃつ)、麩まんじゅう、TC飛騨中華そば	◇岐阜県食品安全基本条例制定(全国で最初)◇イラク戦争開戦◇SARS(重症急性呼吸器症候群)が世界的に大流行◇サラリーマン本人の医療費と家族の入院費の自己負担割合、3割に引き上げ◇個人情報保護法が成立
2004(H16)	◇コープぎふ誕生5周年の取組みを全事業所で開催◇組合員の声に応えた商品づくり「声をカタチに商品案内」がスタート◇OCR読み取りセンターの開設◇福祉サポートセンター岐阜開設◇多治見市と「緊急時の生活物資確保等の協力に関する協定」締結◇商品デビュー:T	◇自衛隊イラク派遣◇イラク日本人人質事件◇鳥インフルエンザ発生◇消費税の内税(総額)表示の義務化◇年金改革関連法の成立◇岐阜(飛騨)・三重豪雨災害◇新潟県中越地震◇スマトラ沖地震◇新潟・福島豪雨災害

年度	コープぎふ10年の歩み	協同組合・社会のできごと
	C煮込み酢、TC若鶏のケイちゃん しょうゆ味	
2005(H17)	◇第3次中期計画(2005～2007)◇「子ども110番」「防犯パトロール」岐阜県の安全安心まちづくりフレンドリー企業に登録◇Let'sチャレンジ、おしゃべりパーティーに取り組む◇葬祭、家電修理販売・ピアノ調律サービススタート◇戦争聞き書き集(第1集)発行◇LPA(ライフプランアドバイザー)の会が発足◇アレルギー対応商品の取り扱い◇飛騨市、瑞穂市と「緊急時の生活物資確保等の協力に関する協定」締結◇商品デビュー:T/Mミニもめんとうふ、板とうふ、こもとうふ、TC野付産秋鮭切身(骨抜き)	◇気候変動枠組条約・京都議定書発効◇中部国際空港セントレア開港◇愛・地球博(愛知万博)開催◇JR福知山線脱線事故◇郵政民営化法成立◇自動車リサイクル法施行◇農地法改正、企業の農業進出始まる◇ハリケーン・カトリーナ米国南部大災害◇日本の人口が戦後初めて減少
2006(H18)	◇尾崎店の全面建替え◇長良店の増床リニューアルオープン◇福祉活動助成基金を設置、20団体に475万円寄贈◇個人宅配・ほほえみ制度利用料引き下げ◇事務センター及び電話注文センターを開設◇商品デビュー:赤かぶ菜とこんぶのしょうゆ味、2分半de生パスタ、TCミニきぬとうふ、便利な細切りこんにゃく	◇北朝鮮がテポドン2号の発射、核実験実施◇タ張市が再建団体申請◇東京三菱銀行とUFJ銀行が合併、三菱東京UFJ銀行が発足◇地上デジタルテレビの「ワンセグ」が開始◇世界の人口が65億人突破◇インドネシア・ジャワ島中部地震災害
2007(H19)	◇可児店増床リニューアル◇福祉活動助成基金24団体に341万円寄贈◇商品注文のしくみ変更(注文電卓からOCR注文用紙へ)◇高齢社会に対応して少量・小分け商品規格検討◇商品案内書にリクエスト企画商品◇食べるは楽しい(食育)活動「たべる*たいせつキッズクラブ」◇クラブ・サークル活動◇商品デビュー:スモーク薫るロースハム	◇4月1日から改正男女雇用機会均等法施行◇不二家、ミートホープ、白い恋人、赤福、比内鶏、船場吉兆など食品偽装事件続発◇コープ手作り餃子中毒事故発生◇中部地方で能登半島地震、三重県中部地震、新潟中越沖地震◇インドネシア・スマトラ沖地震◇団塊世代の大量定年退職が始まる(2007年問題)
2008(H20)	◇第4次中期計画(2008～2012)キーワードは「つながるよこぎ」の実感◇たすけあい共済元受返上、コープ共済連へ統合◇福祉活動助成基金22団体に363万円寄贈◇取扱商品情報の充実(原産国、原料表示、メーカー名など)◇商品交流、産地見学◇食の安全学習会◇食育◇商品デビュー:岐阜県産トマト使用カットトマト◇開発商品リニューアル:TC若鶏のケイちゃんしょうゆ味、飛騨中華そば、カットした糸こんにゃく	◇岐阜県生協連会長理事水野隼人(コープぎふ顧問)厚生労働大臣賞受賞◇リーマンショックによる世界的な金融危機・株価大暴落26年ぶりに7,000円割る、トヨタショック(1兆円下方修正)◇秋葉原通り魔事件◇オバマ、アメリカ大統領就任◇岩手・宮城内陸地震◇中国・四川大地震◇日本史上最多の4人ノーベル賞受賞(物理学・南部陽一郎、益川敏英、小林誠 化学・下村修)◇年末～年始派遣村
2009(H21)	◇6号店「恵那店」オープン◇日本コープ共済生活協同組合連合会に加盟、共済事業の全面受託事業開始◇富山県民生協とコープとやまの紹介により白川村(合掌村)への事業拡大◇「コープぎふ・おたがいさま ひだ」設立◇コープぎふ10周年に感謝し、10周年記念式典と企画事業、地域へのお役立企画◇東海コープグループの2015年ビジョン・理念を検討	◇改正生協法施行◇戦後最大の失業率◇バラクオバマ・アメリカ大統領ブラハで核兵器廃絶演説、ノーベル平和賞受賞◇総選挙で民主党圧勝、鳩山内閣発足◇「年越し派遣村」村長・湯浅誠氏、国家戦略室のメンバーに◇新型インフルエンザ国内で感染拡大、ワクチン接種開始◇南太平洋サモア近海で地震◇インドネシア、スマトラ沖大地震